

令和4年度 根拠資料一覧表

- 資料 01 令和3年度 和歌山県立医科大学教育研究開発センター一部会委員(医学部委員会)名簿
- 資料 02 6年生アンケート集計
- 資料 03 令和3年度 教育研究審議会委員名簿
- 資料 04 FD研修会資料(サンプル)
- 資料 05 教育要項原稿依頼文
- 資料 06 令和3年度 1、2、3、4、5、6年生カリキュラム
- 資料 07 基礎配属前 eAPLIN 受講案内資料
- 資料 08 令和3年度シラバス「ケアマインド教育」
- 資料 09 令和3年度ケアマインド 講義日程表
- 資料 10 令和3年度ケアマインド グループディスカッション方法資料
- 資料 11 令和3年度ケアマインド グループ割
- 資料 12 令和3年度「医学概論」スケジュール
- 資料 13 令和3年度シラバス「医学概論Ⅱ」
- 資料 14 医学概論Ⅱ 学生の感想
- 資料 15 令和3年度「医学入門スケジュール」
- 資料 16 令和3年度 シラバス「医学英語」
- 資料 17 令和3年度 シラバス「遺伝子と遺伝子異常」
- 資料 18 令和3年度 臨床実習要綱別冊(選択制) 臨床実習日程
- 資料 19 現6年生への選択実習の希望調査票
- 資料 20 令和3年度シラバス「基礎医学英語」
- 資料 21 令和3年度シラバス「衛生学・公衆衛生学」
- 資料 22 令和3年度 臨床実習後客観的臨床能力試験実施計画
- 資料 23 令和3年度 卒業試験 解答
- 資料 24 Microsoft Teams 出席フォーム
- 資料 25 Moodle の臨床実習学生評価画面
- 資料 26 入学時オリエンテーションスケジュール
- 資料 27 入学時オリエンテーション資料 学生部長「学生生活の諸注意」(抜粋)
- 資料 28 入学時オリエンテーション資料 健康管理センター「健康管理・ワクチン接種について」内「健康管理センターの取り組み」(抜粋)
- 資料 29 「医学部生の相談ホットライン」
- 資料 30 担任制について
- 資料 31 学生相談室の配置図
- 資料 32 令和3年度第1回カリキュラム専門部会 議事録(抜粋)
- 資料 33 平成30年度・令和3年度 医学部教員男女別人数
- 資料 34 和歌山県立医科大学教員選考規程

- 資料 35 ワークライフバランス支援センター あんしん GUIDE (パンフレット)
- 資料 36 クレヨン保育園の案内
- 資料 37 薬学部キャンパス案内図 (抜粋) および収容目安
- 資料 38 令和3年度教務ガイダンス資料 (災害発生時の避難経路図)
- 資料 39 学内ページ (修学上の配慮)
- 資料 40 学生カルテ操作演習マニュアル
- 資料 41 「学生カルテ操作方法」(臨床実習要領掲載)
- 資料 42 Moodle (E ラーニングシステム)
- 資料 43 和歌山県立医科大学教育研究開発センター組織図
- 資料 44 Certificate for Medical Clerkship
- 資料 45 紀北分院 外来担当医表
- 資料 46 授業評価に係る改善計画等について
- 資料 47 令和3年度 シラバス「学生による授業評価について」
- 資料 48 令和3年度 年間事業実績報告書「開催した部会一覧」
- 資料 49 教育研究開発センター ホームページ (部会・委員会)

令和3年度 教育研究開発センター

各部会部会長・副部会長・部会委員（医学部委員会）名簿

※ 任期：令和3年4月1日～令和6年3月31日（3年）

【カリキュラム専門部会】

赤字：新任

部会長	村田 顕也	(教育研究開発センター長)	〈医学部委員会委員長〉
副部会長	森岡 郁晴	(保健看護学部長)	
副部会長	安原 智久	(薬学部 教授)	
	廣田 麻子	(教養・医学教育大講座 教授)	
	平井 秀一	(教養・医学教育大講座 教授)	
	森川 吉博	(解剖学第2講座 教授)	
	改正 恒康	(生体調節機構研究部 教授)	
	山田 源	(遺伝子制御学研究部 教授)	
	北野 雅之	(内科学第2講座 教授)	
	伊東 秀文	(脳神経内科学講座 教授)	
	神人 正寿	(皮膚科学講座 教授)	
	中尾 直之	(脳神経外科学講座 教授)	
	井篁 一彦	(産科・婦人科学講座 教授)	
	廣西 昌也	(紀北分院総合内科学 教授)	
	上野 雅巳	(地域医療支援センター 教授)	
	森 めぐみ	(教育研究開発センター 助教)	

学生委員 2名 ※学生自治会代議員会において毎年度選出する。

勝井 菜々子 (医学部4年生)

三宅 涼介 (医学部4年生)

【臨床技能教育部会】

部会長	加藤 正哉	(救急・集中治療医学講座 教授)	〈医学部委員会委員長・OSCE実施責任者〉
副部会長	森岡 郁晴	(保健看護学部長)	
副部会長	須野 学	(薬学部 教授)	
◎OSCE実施委員			
	村田 顕也	(教育研究開発センター長)	
	園村 哲郎	(放射線医学講座 教授)	
	井口 幹崇	(内科学第2講座 准教授)	
	中西 正典	(内科学第3講座 准教授)	
	久保 隆史	(内科学第4講座 准教授)	
	柑本 康夫	(泌尿器科学講座 准教授)	
	西林 宏起	(脳神経外科学講座 准教授)	
	田中 才一	(眼科学講座 准教授)	
	水本 一弘	(医療安全推進部 准教授)	
	森 めぐみ	(教育研究開発センター 助教)	

◎CBT実施委員

中 田 正 範	(学生部長)	
村 田 顕 也	(教育研究開発センター長)	
藤 吉 朗	(衛生学講座 教授)	〈CBT実施責任者〉
西 尾 真智子	(微生物学講座 教授)	
山 田 源	(遺伝子制御学研究部 教授)	
中 西 正 典	(内科学第3講座 准教授)	
久 保 隆 史	(内科学第4講座 准教授)	
川 井 学	(外科学第2講座 准教授)	
西 理 宏	(病態栄養治療部 准教授)	
南 佐和子	(総合周産期母子医療センター 准教授)	
山 本 景 一	(情報基盤センター 准教授)	
森 め ぐ み	(教育研究開発センター 助教)	

【F D部会】

部会長	森岡郁晴	(保健看護学部長)
副部会長	村田顕也	(教育研究開発センター長)
副部会長	須野学	(薬学部 教授)
	山田源	(遺伝子制御学講座 教授)
	廣田麻子	(教養・医学教育大講座 教授)
	井原義人	(生化学講座 教授)
	藤井隆夫	(リウマチ・膠原病科学講座 教授)
	森めぐみ	(教育研究開発センター 助教)

【教育評価部会】

部会長	村田顕也	(教育研究開発センター長)	〈医学部委員会委員長〉
副部会長	森岡郁晴	(保健看護学部長)	
副部会長	安原智久	(薬学部 教授)	
	平井秀一	(教養・医学教育大講座 教授)	
	茂里康	(教養・医学教育大講座 教授)	
	井原義人	(生化学講座 教授)	
	改正恒康	(生体調節機構研究部 教授)	
	山本信之	(内科学第3講座 教授)	
	伊東秀文	(脳神経内科学講座 教授)	
	中尾直之	(脳神経外科学講座 教授)	
	山田宏	(整形外科科学講座 教授)	
	原勲	(泌尿器科学講座 教授)	
	保富宗城	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授)	
	森めぐみ	(教育研究開発センター 助教)	
	高見茂	(京都光華女子大学 学長)	
	首藤太一	(大阪市立大学総合医学教育学 教授)	

学生委員 1名 ※学生自治会代議員会において毎年度選出する。
木下善友 (医学部4年生)

【自己評価委員会】

委員長	伊東秀文	(医学部長)
	森岡郁晴	(保健看護学部長)
	太田茂	(薬学部長)
	平井秀一	(入試センター長)
	中尾直之	(病院長)
	中田正範	(学生部長)
	森めぐみ	(教育研究開発センター 助教)
	首藤太一	(大阪市立大学総合医学教育学 教授)
	大江嘉幸	(前和歌山市教育委員会教育長)

【運営委員会】

委員長	教育研究開発センター長
	教育研究開発センター 副センター長
	医学部長
	保健看護学部長
	薬学部長
	学生部長
	入試センター長
	事務局長

6年生アンケート

Q.今後の参考とするため、カリキュラムや教育内容等についての感想や意見等を記載してください。

【教養教育】

	R2	R3	主な意見
1 カリキュラムの改善	22	25	・期間が長い、量が多い ・1年次から基礎医学を ・人文系科目の充実を
2 授業内容の改善	16	10	・医学に関連した内容に ・英語教育の充実を ・授業・試験のあり方に疑問を抱く科目があった
3 進級判定が厳しい	14	11	・留年者が多すぎる ・教養科目で留年させる意味が分からない。 ・留年の恐怖感とともに一年を過ごした
4 有意義であった	14	10	・ゆっくりと様々な教養科目を学べて良かった。 ・医学を絡めた講義は知見を広げる良い機会だった。
5 必要ない	6	2	・不要だと感じる科目が多かった ・将来医師になる上で役立つとはあまり思わなかった。
6 難しかった	6	1	・勉強の仕方が分からず内容も6年を通して最も難しかった。 ・一般教養にしては求められるレベルが高い
7 選択科目が少ない	2	2	・選択科目を増やすことで学生が能動的に学習できる科目が増えると思う。
8 その他	10	4	・リーダーシップ育成講義をしてほしい ・看護学部や薬学部との交流が増えればいい

【基礎医学教育】

	R2	R3	主な意見
1 有意義であった	27	17	・印象強く記憶に残る授業が多かった ・実習が充実していた ・基礎配属で基礎医学の重要性が学べた
2 カリキュラムの改善	22	13	・試験が多く負担が大きかった ・カリキュラムが密でひたすら覚える作業になってしまった。 ・海外基礎配属に参加しやすい仕組みを(R2)
3 臨床医学と関連づけた授業を	20	10	・臨床に進んでから基礎医学の重要性がわかった。 ・臨床医学との関連が分かればモチベーションに繋がる。
4 授業内容の改善	8	10	・外国語教育の充実 ・実習の充実 ・体系的な知識が身につく授業を
5 その他	6	6	・wifi、空調など設備を整えてほしい ・一部の科目で進級判定が厳しい

【臨床医学教育】

	R2	R3	主な意見
1 有意義であった	33	17	・医療現場で実際に行われている内容や新しい内容も学べた。 ・先生方がとても親身になって教えてくれた ・4年で学んだことが5、6年の実習で確認できた。
2 カリキュラムの改善	12	14	・4年次からのスタートでは遅いと感じた。 ・4年の始めはもっととっつきやすい科目から始めるべき ・4年生で30回以上の試験があり、詰め込み勉強になってしまった
3 ポリクリの改善	9	8	・教育熱心な科とそうでない科の差がとても大きい ・もっと実践的なことを学びたかった。
4 講義の改善	9	7	・画像、映像が増えるともっと分かりやすい ・卒試や国試にもう少し対応してほしい。 ・総論の後各論を教えてください。
5 コロナで一部の实習ができず残念	6	5	・コロナで臨床実習が少なかったことが残念
6 試験の改善	0	7	・国家試験にそった内容のテストを(R3) ・卒試の解答公開をもう少し早くしてほしい(R3)
7 レジユメの電子化	2	1	・紙の量がとても多く保管も大変
8 その他	14	7	・4年次のテストは期間ごとに分かれていたので集中して勉強できた。(R2)

令和3年度教育研究審議会委員

役 職	氏 名	備 考
学 長	宮下 和久	理事長
2号委員	稲葉 信	副理事長
3号委員	島 秀之	事務局長
4号委員	山上 裕機	副学長
4号委員	雑賀 司珠也	副学長
5号委員	伊東 秀文	医学部長
5号委員	森岡 郁晴	保健看護学部長
5号委員	太田 茂	薬学部長
6号委員	中尾 直之	附属病院長
6号委員	中田 正範	学生部長
6号委員	平井 秀一	入試センター長
6号委員	金桶 吉起	図書館長
6号委員	西村 好晴	地域・国際貢献推進本部長
6号委員	保富 宗城	共同利用施設長
7号委員	園木 孝志	血液内科学講座教授
7号委員	水田 真由美	保健看護学部教授
7号委員	赤池 昭紀	薬学部参事・教授
8号委員	足立 基浩	学外委員（和歌山大学教授）

※サンプル

ケアマインド教育1年生講義 コアカリ対応表

No.	項目	担当科	担当	コアカリキュラム	番号
1	オリエンテーション	教育研究開発センター	村田	A-1-1	②
				A-1-2	②③④
2	障害者スポーツ講演(患者)	教育研究開発センター	村田	A-1-2	②③④
				A-4-1	③
3	障害者スポーツグループワーク	教育研究開発センター	村田	A-2-1	①②③④
4	障害者スポーツ学生発表	教育研究開発センター	村田	A-2-1	①②③④
	(以下、略)				



今年度の講義内容がコア・カリキュラムのどの部分に該当するかチェックを行う

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版 (抜粋版)

文部科学省<http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm>

A 医師として求められる基本的な資質・能力

A-1 プロフェッショナリズム

A-1-1) 医の倫理と生命倫理	<ul style="list-style-type: none"> ①医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ③ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。
A-1-2) 患者中心の視点	<ul style="list-style-type: none"> ①リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。 ②患者の自己決定権の意義を説明できる。 ③選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 ④インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる
A-1-3) 医師としての責務と裁量権	<ul style="list-style-type: none"> ①診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。 ②患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 ③医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 ④医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 ⑤医師の法的義務を列挙し、例示できる。

改訂医学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方(抄)

大学教育における位置付け

○モデル・コア・カリキュラムの整理

モデル・コア・カリキュラムは、各大学が策定する「カリキュラム」のうち、全大学で共通して取り組むべき「コア」の部分抽出し、「モデル」として体系的に整理したものである。このため、従来どおり、**各大学における具体的な医学教育は、学修時間数の3分の2程度を目安にモデル・コア・カリキュラムを参考**とし、授業科目等の設定、教育手法や履修順序等 残りの3分の1程度の内容は各大学が自主的に編成するものとする。この際、卒前の研究室配属などの学生時代から医学研究への志向を涵養する教育や、医療関係者以外の方の声を聴くなどの授業方法の工夫など、各大学において特色ある取組や授業内容の改善に加え、これらの実現に向けた教(職)員の教育能力の向上を進めることが望まれる。こうした取組の実行可能性を高めるために、基本的にはモデル・コア・カリキュラムをスリム化する方向で整理をしたが、合わせて、医学や医療の進歩に伴う知識や技能について、全てを卒前教育において修得することを目指すものではなく、生涯をかけて修得していくことを前提に、卒前教育で行うべきものを精査する必要があることも強調しておく。

和 医 大 学 号 外
令和3年12月23日

臨床医学講義担当教員 様

教育研究開発センター長
(公 印 省 略)

令和4年度臨床医学講義カリキュラムの送付および教育要項の作成について（依頼）

標記について、令和4年度カリキュラムを別添のとおり実施いたします。暦の関係やカリキュラム編成の関係上、時間割等が昨年度と変わっている場合がありますのでご確認をお願いします。本試験の日程もカリキュラム記載のとおりとなります。（別途試験日程に係わる通知は行いませんので、ご留意ください。）

なお、授業の実施方法については、面接形式での実施となりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、昨年度同様に、遠隔講義に切り替える場合もありますのでご留意願います。

また、下記により担当授業科目の令和4年度教育要項用の原稿作成をお願いいたします。その際に、授業の各項目がコア・カリキュラムのどの項目に該当するかを「医学教育モデル・コア・カリキュラム」の表を参考に、該当する分野（例：A-1-1）及び番号（例：①）を記載してください。（Teamsの「教員チーム」のファイルに「医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）」を添付しますので、ご参照ください。）次年度以降のカリキュラム専門部会等において、各科目のコアカリキュラムの該当項目に基づき、授業内容及び授業コマ数を再検討する予定です。

記

- 1 原稿作成の担当箇所 別添配付資料のとおり
 - 2 提出期限 令和4年1月12日（水）必着（厳守）
 - 3 提出先 学生課教務班
 - 4 留意事項等 別紙1のとおり
 - 5 提出原稿とともに原稿作成担当教員の氏名等について、様式1により文書またはE-mail(tmana@wakayama-med. ac. jp)までご報告ください。
 - 6 ご提出いただいた原稿については、記載の統一を図るための修正を行う場合がありますので予めご了承ください。
- ※ 臨床医学講義（主題別）担当オーガナイザーにおかれましては、科目内の全ての教室（所属）の担当教員と講義日程等について、十分ご協議いただきますようよろしくお願いいたします。

※ 令和4年度の4年生は107名程度となる見込みです。

担当：学生課教務班 橘
内線：5703
E-mail:tmana@wakayama-med. ac. jp

留意事項等

(別紙1)

- (1) 各授業科目において、学際的な内容の教授についてはもちろんのことですが、モデル・コア・カリキュラム（文部科学省）及び医師国家試験出題基準（厚生労働省）に記載されている内容については、教育要項用原稿において、講義項目及び個別学習目標等への記載をしていただくとともに、講義等においてはこれらの内容について必ず、かつ、十分に教授していただき、評価についてもその内容について最低限試験への出題等、実施していただきますようお願いいたします。
 - (2) 令和3年度教育要項により、内容に他の講義との重複がないかについてチェックを必ず行ってください。なお、内容に重複がある場合は、当該授業科目担当教員と事前に調整のうえ作成してください。
 - (3) 臨床医学講義(主題別)担当オーガナイザーにおかれましては、科目内のすべての教室(所属)の調整を行っていただくとともに、1科目で2名のオーガナイザーがいる科目においては両者に当該通知を行っていますが、事前に調整のうえ、代表オーガナイザー1名からの提出としてください。
 - (4) 一般学習目標の記載について
 - ・原則として2～3行で記載してください。
 - ・一般学習目標は学習の成果を表現したものです。
 - ・概念的な動詞（例：理解する、適用する、習得するなど）を用いて表現するようにしてください。行動的な動詞（例：述べる、列挙する、選ぶなど）は用いないのが一般的です。
 - (5) 講義項目及び個別学習目標の記載について
 - ・モデル・コア・カリキュラム及び医師国家試験出題基準に記載されている項目については、必ず記載いただき、重点的に教授・評価を行ってください。
 - ・講義項目ごとに個別学習目標を必ず記載してください。
 - ・少なくとも10項目以上の個別学習目標を記載してください。
 - ・具体的な行動を示す動詞（例：説明する、列挙する、示す、述べるなど）を用いてください。
 - (6) 評価の方法の記載について
 - ・具体的かつ詳細に記載してください。
 - 例：小テスト10%、期末試験60%、出席20%、レポート10%で評価する。
 - 例：期末試験の成績は全学的な基準により評価する。なお、出席が2/3に満たない場合は、不合格とする。等
- 令和4年度教育要項冒頭部分の医学部履修要領に下記を記載することとなりましたので、各科目の記載内容にもご留意ください。

(令和4年度教育要一部抜粋(追記部分)) **III. 履修科目の成績の評価について**

1. 各科目の成績は、試験、レポート、出席、実習態度等により評価する。なお、出席については、原則、2/3以上の出席を必須とし、その他、配分などは各科目の評価方法等に記載する。
- (7) ご担当いただく箇所の令和3年度版の原稿及び講義日程表を添付していますので、変更及び追加訂正等については赤字で記載していただくか、または、新たに作成した原稿を提出してください。なお、提出の際は、E-mailでデータをご提出いただきますようお願いいたします。(講義日程表の日程は令和4年度版に変更しています。)
※コアカリキュラムの部分については、教育要項には記載しません。
 - (8) 試験については、試験日程表のとおり行っていただけますと幸いです。実施時間については変更可能ですので、変更が有る場合は赤ペンで訂正のうえご提出ください。
 - (9) PBLを行っている系統について
PBL/チュートリアルは小グループに対して行われるものです。4年次の臨床講義の際のPBLとされているものについては、全体に対して行われた場合にはTBL (Team-based learning) としてください。
 - (10) 非常勤講師Bの委嘱(更新)にあたっては、講義担当の先生の氏名が教育要項に記載されている必要がありますので、非常勤講師の先生に授業をご担当いただく場合は、教育要項に氏名を明記してください。
 - (11) 配布資料
[原稿] 担当授業科目令和3年度原稿、令和4年度試験日程表、
[資料] 令和4年度学事予定表、令和4年度暦、カリキュラム表、医学部履修要項、医学教育モデルコア・カリキュラム

1年生（Ⅰ・Ⅱ期）カリキュラム

※火曜日時間割 1限:8:50～10:00、2限:10:10～11:20、3限:11:30～12:40、4限:13:30～15:00(90分)、5限:15:10～16:20

※講義は主として医学部三葛教育棟1階の講義室1で行われるが、詳細は掲示によって通知する。

※情報処理、物理学実習Ⅰ、化学実習Ⅰ、生物学実習Ⅰは、Ⅰ期の前半・後半をA・Bのグループに分かれて受講する。医学統計学、心理学実習は、A・Bのグループに分かれて隔週ごとに受講する。(詳細は別途掲示する。)

※内容は変更になることがある。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日										
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	
	3/29						3/30						3/31						4/1						4/2						
1	4/5												4/6						入学式						4/7						新入生ガイダンス
2	4/12	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	4/13	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		健康診断			4/14	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			4/15	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			4/16	新入生研修				
3	4/19	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	4/20	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		医学入門			4/21	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			4/22	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			4/23	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学
4	4/26	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	4/27	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		医学入門			4/28	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			4/29	昭和の日					4/30	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学
5	5/3	憲法記念日					5/4	みどりの日					5/5	こどもの日					5/6	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			5/7	TOEFL ITP/M.D-Ph.D説明会					
6	5/10	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	5/11	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		ケア・マインド			5/12	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			5/13	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			5/14	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学
7	5/17	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	5/18	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		ケア・マインド		人権講義	5/19	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			5/20	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			5/21	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学
8	5/24	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	5/25	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		ケア・マインド			5/26	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			5/27	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			5/28	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学
9	5/31	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/1	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		ケア・マインド			6/2	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			6/3	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ			6/4	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学
10	6/7	人権講義	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/8	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		ケア・マインド			6/9	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ			6/10	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ			6/11	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学
11	6/14	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/15	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		ケア・マインド			6/16	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ			6/17	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ			6/18	人権講義	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学
12	6/21	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/22	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		ケア・マインド			6/23	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ			6/24	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ			6/25	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学
13	6/28	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/29	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		ケア・マインド			6/30	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ			7/1	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ			7/2	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学
14	7/5	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	7/6	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		ケア・マインド			7/7	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ			7/8	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ			7/9	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学
休	7/12	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/13	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/14	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/15	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/16	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
	7/19	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/20	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/21	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/22	海の日					7/23	スポーツの日					
	7/26	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/27	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/28	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/29	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/30	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
	8/2	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/3	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/4	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/5	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/6	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
	8/9	山の日					8/10	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/11	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/12	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/13	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
	8/16	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/17	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/18	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/19	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/20	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					
15	8/23	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	8/24	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語		医学入門			8/25	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ			8/26	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ			8/27	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学
16	8/30	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	8/31	物理学A	早期体験実習報告会				9/1	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ			9/2	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ			9/3	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学	
17	9/6	Ⅰ期試験					9/7	Ⅰ期試験					9/8	Ⅰ期試験					9/9	Ⅰ期試験					9/10	Ⅰ期試験					
18	9/13	Ⅰ期試験					9/14	Ⅰ期試験					9/15	Ⅰ期試験					9/16	Ⅰ期試験					9/17	Ⅰ期試験					

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日												
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限			
19	9/20	敬老の日					9/21	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語				9/22	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					9/23	秋分の日					9/24	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
20	9/27	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	9/28	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			I期再試験	9/29	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					9/30	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/1	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
21	10/4	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/5	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			ケア・マイ ンド	I期再試験	10/6	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					10/7	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/8	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
22	10/11	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/12	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			ケア・マイ ンド	I期再試験	10/13	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					10/14	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/15	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
23	10/18	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/19	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			ケア・マイ ンド	I期再試験	10/20	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					10/21	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/22	大学祭(10/23~10/24)					
24	10/25	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/26	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			ケア・マイ ンド	I期再試験	10/27	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					10/28	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/29	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
25	11/1	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/2	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			ケア・マイ ンド	I期再試験	11/3	文化の日					11/4	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/5	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習					
26	11/8	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/9	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			ケア・マイ ンド	I期再試験	11/10	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					11/11	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/12	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
27	11/15	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/16	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			ケア・マイ ンド	I期再試験	11/17	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					11/18	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/19	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
28	11/22	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/23	勤労感謝の日					11/24	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					11/25	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/26	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
29	11/29	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/30	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			ケア・マイ ンド	I期再試験	12/1	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					12/2	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	12/3	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
30	12/6	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	12/7	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			ケア・マイ ンド	I期再試験	12/8	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					12/9	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	12/10	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
31	12/13	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	12/14	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			生体分子の 構造と機能 Ⅰ	生体分子の 構造と機能 Ⅰ	12/15	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					12/16	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	12/17	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
休	12/20	冬期休業日					12/21	冬期休業日					12/22	冬期休業日					12/23	冬期休業日					12/24	冬期休業日							
	12/27	冬期休業日					12/28	冬期休業日					12/29	冬期休業日					12/30	冬期休業日					12/31	冬期休業日							
32	1/3	冬期休業日					1/4	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			生体分子の 構造と機能 Ⅰ	生体分子の 構造と機能 Ⅰ	1/5	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					1/6	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	1/7	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習		
33	1/10	成人の日					1/11	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語			生体分子の 構造と機能 Ⅰ	生体分子の 構造と機能 Ⅰ	1/12	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					1/13	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	1/14	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習		
34	1/17	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	1/18		物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ					1/19	Ⅱ期試験					1/20	Ⅱ期試験					1/21	Ⅱ期試験							
35	1/24	Ⅱ期試験					1/25	Ⅱ期試験					1/26	Ⅱ期試験					1/27	Ⅱ期試験					1/28	Ⅱ期試験							
36	1/31	Ⅱ期試験					2/1	医学入門(エスコート実習、事前講習)					2/2																				
37	2/7	Ⅱ期再試験					2/8	Ⅱ期再試験					2/9	Ⅱ期再試験					2/10	Ⅱ期再試験					2/11	建国記念の日							
38	2/14	Ⅱ期再試験					2/15	Ⅱ期再試験					2/16	Ⅱ期再試験					2/17	Ⅱ期再試験					2/18	Ⅱ期再試験							
(1)	2/21	地域福祉施設体験実習					2/22	地域福祉施設体験実習					2/23	天皇誕生日					2/24	地域福祉施設体験実習					2/25	地域福祉施設体験実習							
(2)	2/28	実習報告会			人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	3/1	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	3/2	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	3/3	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	3/4	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能	人体の正常 構造と機能			
(3)	3/7	学年末休業日					3/8	学年末休業日					3/9	学年末休業日					3/10	学年末休業日					3/11	学年末休業日							
(4)	3/14	学年末休業日					3/15	学年末休業日					3/16	学年末休業日					3/17	学年末休業日					3/18	学年末休業日							

2年生(Ⅲ期・Ⅳ期)カリキュラム

※面接講義は主として基礎教育棟3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日									
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限
21	9/27	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	9/28	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	基礎医学英語	基礎医学英語	講義予備	9/29	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	9/30	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	講義予備	10/1	生体分子の構造と機能Ⅱ	生体分子の構造と機能Ⅱ	講義予備	講義予備	講義予備
22	10/4	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	10/5	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	基礎医学英語	基礎医学英語	講義予備	10/6	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	10/7	系統解剖学実習予備日					10/8	生体分子の構造と機能Ⅱ	生体分子の構造と機能Ⅱ	講義予備	講義予備	特別講義(人権教育)
23	10/11	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	10/12	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	基礎医学英語	基礎医学英語	講義予備	10/13	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	10/14	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	講義予備	講義予備	講義予備	10/15	生体分子の構造と機能Ⅱ	生体分子の構造と機能Ⅱ	講義予備	講義予備	講義予備
24	10/18	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	10/19	慰霊祭					10/20	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	10/21	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	講義予備	10/22	大学祭(10/22~10/24) ※大学祭中止の場合は系統解剖学実習予備日				
25	10/25	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	10/26	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	地域医療・地域保健Ⅰ	基礎医学英語	基礎医学英語	10/27	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	10/28	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	講義予備	10/29	生体分子の構造と機能Ⅱ	生体分子の構造と機能Ⅱ	病棟訪問実習 事前説明	基礎医学英語	基礎医学英語
26	11/1	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	11/2	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	地域医療・地域保健Ⅰ	基礎医学英語	基礎医学英語	11/3	文化の日					11/4	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	講義予備	11/5	生体分子の構造と機能Ⅱ	生体分子の構造と機能Ⅱ	地域医療・地域保健Ⅰ	基礎医学英語	基礎医学英語
27	11/8	系統解剖学実習予備日					11/9	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	基礎医学英語	基礎医学英語	講義予備	11/10	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	11/11	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	地域医療・地域保健Ⅰ	地域医療・地域保健Ⅰ	講義予備	11/12	生体分子の構造と機能Ⅱ	生体分子の構造と機能Ⅱ	地域医療・地域保健Ⅰ	基礎医学英語	基礎医学英語
28	11/15	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	11/16	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	講義予備	講義予備	講義予備	11/17	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	11/18	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	講義予備	講義予備	講義予備	11/19	生体分子の構造と機能Ⅱ	生体分子の構造と機能Ⅱ	基礎医学英語	基礎医学英語	講義予備
29	11/22	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	11/23	勤労感謝の日					11/24	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	11/25	病棟訪問	病棟訪問	講義予備	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	11/26	系統解剖学実習予備日				
30	11/29	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	11/30	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能	講義予備	講義予備	12/1	講義予備	講義予備	人体の正常構造と機能実習	人体の正常構造と機能実習	人体の正常構造と機能実習	12/2	病棟訪問	病棟訪問	講義予備	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	12/3	生体分子の構造と機能Ⅱ	生体分子の構造と機能Ⅱ	基礎医学英語	基礎医学英語	講義予備
31	12/6	講義予備	講義予備	人体の正常構造と機能実習	人体の正常構造と機能実習	人体の正常構造と機能実習	12/7	地域実習報告会				Ⅲ期再試験	12/8	講義予備	講義予備	人体の正常構造と機能実習	人体の正常構造と機能実習	人体の正常構造と機能実習	12/9	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	12/10	生体分子の構造と機能Ⅱ	生体分子の構造と機能Ⅱ	講義予備	地域医療・地域保健Ⅰ	地域医療・地域保健Ⅰ
32	12/13	講義予備	講義予備	人体の正常構造と機能実習	人体の正常構造と機能実習	人体の正常構造と機能実習	12/14	基礎配属説明及び教室紹介					12/15	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	系統解剖学実習	12/16	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	12/17	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験	Ⅲ期再試験
休	12/20	冬期休業日					12/21	冬期休業日					12/22	冬期休業日					12/23	冬期休業日					12/24	冬期休業日				
休	12/27	冬期休業日					12/28	冬期休業日					12/29	冬期休業日					12/30	冬期休業日					12/31	冬期休業日				
33	1/3	冬期休業日					1/4	Ⅳ期本試験					1/5	Ⅳ期本試験					1/6	Ⅳ期本試験					1/7	Ⅳ期本試験				
34	1/10	成人の日					1/11	Ⅳ期本試験					1/12	Ⅳ期本試験					1/13	OSCE(講義室使用不可)					1/14	基礎配属報告会				
35	1/17	生化学・細胞生物学実習					1/18	生化学・細胞生物学実習					1/19	生化学・細胞生物学実習					1/20	生化学・細胞生物学実習					1/21	生化学・細胞生物学実習				
36	1/24	生化学・細胞生物学実習					1/25	生化学・細胞生物学実習					1/26	生化学・細胞生物学実習					1/27	生化学・細胞生物学実習					1/28	生化学・細胞生物学実習				
37	1/31	Ⅳ期再試験					2/1	Ⅳ期再試験					2/2	Ⅳ期再試験					2/3	Ⅳ期再試験					2/4	Ⅳ期再試験				
38	2/7	Ⅳ期再試験					2/8	Ⅳ期再試験					2/9	Ⅳ期再試験					2/10	Ⅳ期再試験※4年OSCE予備日					2/11	建国記念の日				
39	2/14						2/15						2/16						2/17						2/18					
40	2/21						2/22						2/23						2/24						2/25					
41	2/28	講義					3/1	講義					3/2	講義					3/3	講義					3/4	講義				
42	3/7						3/8						3/9						3/10						3/11					
休	3/14	学年末休業日					3/15	学年末休業日					3/16	学年末休業日					3/17	学年末休業日(卒業式)					3/18	学年末休業日				
休	3/21	春分の日					3/22	学年末休業日					3/23	学年末休業日					3/24	学年末休業日					3/25	学年末休業日				
休	3/28	春期休業日					3/29	春期休業日					3/30	春期休業日					3/31	春期休業日					4/1	春期休業日				

授業実施方針 (R3.1.29時点)
授業は、実習及び試験を面接で実施し、講義は遠隔で実施する。
※「人体の正常構造と機能」のコマは、実習・試験が含まれるので注意してください。
なお、実習・試験は、骨学実習が3/1~3/5、それ以外は水曜・木曜に実施するように予定を組んでいます。(詳細は、教育要項の日程表を確認してください。)

※「病棟訪問」については別途通知します。
 ※「地域実習」の一部施設は、夏期休業日に実施される場合があります。決まり次第追ってお知らせします。
 ※2/14からの講義については未定の部分がありますので、決まり次第追ってお知らせします。

3年生(V期・VI期)カリキュラム

※面接講義は主として基礎教育棟3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日						火曜日					水曜日					木曜日					金曜日								
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限
1	2/15	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	2/16	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属事前説明	2/17	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	生体と微生物	生体と微生物	2/18	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	2/19	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御	
2	2/22	前期入試準備					2/23	天皇誕生日					2/24	前期入試準備					2/25	前期入試					2/26	前期入試				
3	3/1	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	講義予備	講義予備	3/2	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	講義予備	講義予備	3/3	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	生体と微生物	生体と微生物	3/4	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	3/5	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
4	3/8	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	3/9	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	講義予備	講義予備	3/10	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	生体と微生物	生体と微生物	3/11	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	3/12	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
休	3/15	学年末休業日					3/16	学年末休業日					3/17	学年末休業日(卒業式)					3/18	学年末休業日					3/19	学年末休業日				
	3/22	学年末休業日					3/23	学年末休業日					3/24	学年末休業日					3/25	学年末休業日					3/26	学年末休業日				
	3/29	春期休業日					3/30	春期休業日					3/31	春期休業日					4/1	春期休業日					4/2	春期休業日				
5	4/5	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/6	入学式					4/7	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	生体と微生物	生体と微生物	4/8	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	4/9	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
6	4/12	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/13	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	健康診断	4/14	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	生体と微生物	生体と微生物	4/15	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	4/16	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御	
7	4/19	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/20	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	講義予備	講義予備	4/21	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	生体と微生物	生体と微生物	4/22	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	4/23	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
8	4/26	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	特別講義(人権講義)	医学英語	4/27	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	特別講義(地域医療)	講義予備	4/28	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	生体と微生物	生体と微生物	4/29	昭和の日					4/30	講義予備日(TOEFL-ITPテスト)				
9	5/3	憲法記念日					5/4	みどりの日					5/5	こどもの日					5/6	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	5/7	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
10	5/10	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	特別講義(人権講義)	医学英語	5/11	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	講義予備	講義予備	5/12	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	生体と微生物	生体と微生物	5/13	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	5/14	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
11	5/17	試験					5/18	試験					5/19	試験					5/20	試験					5/21	試験				
12	5/24	試験					5/25	試験					5/26	試験					5/27	試験					5/28	試験				
13	5/31	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	6/1	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	6/2	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	生体と微生物	生体と微生物	6/3	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生態と病害動物	生態と病害動物	6/4	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
14	6/7	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	6/8	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	6/9	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	生体と微生物	生体と微生物	6/10	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生態と病害動物	生態と病害動物	6/11	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
15	6/14	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	6/15	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	6/16	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	生体と微生物	生体と微生物	6/17	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生態と病害動物	生態と病害動物	6/18	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
16	6/21	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	6/22	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	6/23	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	生体と微生物	生体と微生物	6/24	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生態と病害動物	生態と病害動物	6/25	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
17	6/28	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	6/29	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	6/30	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/1	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/2	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
18	7/5	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/6	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/7	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/8	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/9	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
19	7/12	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/13	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/14	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/15	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/16	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
休	7/19	夏期休業日					7/20	夏期休業日					7/21	夏期休業日					7/22	海の日					7/23	スポーツの日				
	7/26	夏期休業日					7/27	夏期休業日					7/28	夏期休業日					7/29	夏期休業日					7/30	夏期休業日				
	8/2	夏期休業日					8/3	夏期休業日					8/4	夏期休業日					8/5	夏期休業日					8/6	夏期休業日				
	8/9	振替休日					8/10	夏期休業日					8/11	夏期休業日					8/12	夏期休業日					8/13	夏期休業日				
	8/16	夏期休業日					8/17	夏期休業日					8/18	夏期休業日					8/19	夏期休業日					8/20	夏期休業日				
	8/23	夏期休業日					8/24	夏期休業日					8/25	夏期休業日					8/26	夏期休業日					8/27	夏期休業日				
20	8/30	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/31	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/1	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/2	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/3	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
21	9/6	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/7	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/8	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/9	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/10	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
22	9/13	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/14	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/15	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/16	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/17	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属

3年生(V期・VI期)カリキュラム

※面接講義は主として基礎教育棟3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日									
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限
23	9/20	敬老の日					9/21	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	9/22	生体と微生物	生体と微生物	病棟実習事前説明	生体と薬物	生体と薬物	9/23	秋分の日					9/24	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
24	9/27	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/28	病棟実習			基礎配属	基礎配属	9/29	生体と微生物	生体と微生物	生態と病害動物	生体と薬物	生体と薬物	9/30	病棟実習			基礎配属	基礎配属	10/1	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
25	10/4	病因と病態	病因と病態	講義予備	特別講義(交換講義)	特別講義(交換講義)	10/5	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	10/6	生体と微生物	生体と微生物	生態と病害動物	生体と薬物	生体と薬物	10/7	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生体と微生物	生体と微生物	10/8	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
26	10/11	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生体と微生物	生体と微生物	10/12	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	10/13	生体と微生物	生体と微生物	生態と病害動物	生体と薬物	生体と薬物	10/14	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生体と微生物	生体と微生物	10/15	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
27	10/18	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生体と微生物	生体と微生物	10/19	慰霊祭					10/20	生体と微生物	生体と微生物	生態と病害動物	生体と薬物	生体と薬物	10/21	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生体と微生物	生体と微生物	10/22	大学祭(10/22~10/24)				
28	10/25	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生体と微生物	生体と微生物	10/26	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	10/27	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	10/28	病因と病態	病因と病態	病因と病態	生体と薬物	講義予備	10/29	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
29	11/1	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	11/2	微生物学実習					11/3	文化の日					11/4	微生物学実習					11/5	微生物学実習				
30	11/8	微生物学実習					11/9	微生物学実習					11/10	微生物学実習					11/11	微生物学実習					11/12	微生物学実習				
31	11/15	微生物学実習					11/16	微生物学実習					11/17	微生物学実習					11/18	講義予備					11/19	講義予備				
32	11/22	試験					11/23	勤労感謝の日					11/24	試験					11/25	試験					11/26	試験				
33	11/29	試験					11/30	試験					12/1	試験					12/2	試験					12/3	試験				
34	12/6	薬理学実習					12/7	薬理学実習					12/8	薬理学実習					12/9	薬理学実習					12/10	薬理学実習				
35	12/13	薬理学実習					12/14	薬理学実習					12/15	薬理学実習					12/16	薬理学実習					12/17	薬理学実習				
休	12/20	冬期休業日					12/21	冬期休業日					12/22	冬期休業日					12/23	冬期休業日					12/24	冬期休業日				
	12/27	冬期休業日					12/28	冬期休業日					12/29	冬期休業日					12/30	冬期休業日					12/31	冬期休業日				
36	1/3	冬期休業日					1/4	再試験(基礎配属)					1/5	再試験(基礎配属)					1/6	再試験(基礎配属)					1/7	再試験(基礎配属)				
37	1/10	成人の日					1/11	再試験(基礎配属)					1/12	再試験(基礎配属)					1/13	OSCE(講義室使用不可)					1/14	基礎配属報告会				
38	1/17	臨床医学講義(※)					1/18	臨床医学講義(※)					1/19	臨床医学講義(※)					1/20	臨床医学講義(※)					1/21	臨床医学講義(※)				
39	1/24						1/25						1/26						1/27						1/28					
40	1/31						2/1						2/2						2/3						2/4					
41	2/7						2/8						2/9						2/10						2/11					
42	2/14						2/15						2/16						2/17						2/18					
43	2/21						2/22						2/23						2/24						2/25					
44	2/28						3/1						3/2						3/3						3/4					
45	3/7						3/8						3/9						3/10						3/11					
休	3/14						学年末休業日						3/15						学年末休業日						3/16					
	3/21	春分の日					3/22	学年末休業日					3/23	学年末休業日					3/24	学年末休業日					3/25	学年末休業日				
	3/28	春期休業日					3/29	春期休業日					3/30	春期休業日					3/31	春期休業日					4/1	春期休業日				

※1/17からの臨床医学講義については未定の部分がありますので、決まり次第追ってお知らせします。

授業実施方針(R3.1.29時点)
 授業は、実習及び試験を面接で実施し、講義は遠隔で実施する。
 ※「医と法」については、画像のアップロードが困難なことから、対面で実施する。
 ※2/16基礎配属事前説明も対面で実施する。

4年生(Ⅶ・Ⅷ期)カリキュラム

※担当の教室・教員等は各教室ページを確認してください。

※講義は主として病院棟4階 臨床講堂Ⅰで行われますが、詳細は掲示または講義内等で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日												
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限			
第1クール	1	1/18	画像医学	消化器	消化器	循環器	循環器	1/19	麻酔	呼吸器	呼吸器	栄養	栄養	1/20	呼吸器	消化器	消化器	血液	血液	1/21	呼吸器	呼吸器	呼吸器	血液	臨床検査	1/22	呼吸器	麻酔	麻酔	循環器	循環器		
	2	1/25	画像医学	消化器	消化器	循環器	循環器	1/26	麻酔	呼吸器	呼吸器	栄養	栄養	1/27	呼吸器	消化器	消化器	血液	血液	1/28	呼吸器	呼吸器	呼吸器	血液	臨床検査	1/29	呼吸器	麻酔	麻酔	循環器	循環器		
	3	2/1	腎・泌尿器	消化器	消化器	循環器	循環器	2/2	麻酔	呼吸器	呼吸器	循環器	循環器	2/3	内分泌	消化器	消化器	血液	血液	2/4	呼吸器	内分泌	内分泌	血液	臨床検査	2/5	循環器	麻酔	麻酔	消化器	消化器		
	4	2/8	腎・泌尿器	消化器	消化器	循環器	循環器	2/9	麻酔	呼吸器	呼吸器	内分泌	内分泌	2/10	呼吸器	消化器	消化器	血液	血液	2/11	建国記念の日					2/12	循環器	麻酔	麻酔	消化器	消化器		
	5	2/15	腎・泌尿器	腎・泌尿器	腎・泌尿器	循環器	循環器	2/16	麻酔	内分泌	内分泌	内分泌	内分泌	2/17	腎・泌尿器	消化器	消化器	血液	血液	2/18	内分泌	内分泌	内分泌	血液	臨床検査	2/19	循環器	循環器	循環器	消化器	消化器		
	6	2/22	消化器	消化器	消化器	循環器	循環器	2/23	天皇誕生日					2/24	腎・泌尿器	消化器	消化器	血液	血液	2/25	内分泌	内分泌	内分泌	血液	血液	2/26	循環器	循環器	循環器	消化器	消化器		
	7	3/1		呼吸器 本試験				3/2	麻酔	内分泌	内分泌	内分泌	内分泌	3/3	腎・泌尿器	消化器	消化器	血液	血液	3/4	内分泌	内分泌	内分泌	運動	運動	3/5	循環器	循環器	循環器	消化器	消化器		
	8	3/8	講義予備日	衛・公	衛・公	循環器	循環器	3/9					栄養 本試験	3/10	講義予備日	講義予備日	講義予備日	講義予備日	講義予備日	3/11	内分泌	内分泌	内分泌	運動	運動	3/12		麻酔 本試験					
休	3/15	学年末休業日					3/16	学年末休業日					3/17	令和2年度卒業式					3/18	学年末休業日					3/19	学年末休業日							
	3/22	学年末休業日					3/23	学年末休業日					3/24	学年末休業日					3/25	学年末休業日					3/26	学年末休業日							
	3/29	春期休業日					3/30	春期休業日					3/31	春期休業日					4/1	春期休業日					4/2	春期休業日							
第2クール	9	4/5		消化器 本試験		健康診断		4/6	令和3年度入学式					4/7				血液 本試験		4/8	神経	神経	神経	神経	神経	4/9	腎・泌尿器	生殖	生殖	精神	救急		
	10	4/12	腎・泌尿器	腎・泌尿器	腎・泌尿器	循環器	循環器	4/13	耳鼻	眼	眼	循環器	循環器	4/14	腎・泌尿器	腎・泌尿器	耳鼻	神経	神経	4/15	神経	神経	神経	運動	運動	4/16	腎・泌尿器	生殖	生殖	精神	精神		
	11	4/19	衛・公	衛・公	衛・公	講義予備日	講義予備日	4/20	耳鼻	眼	眼	救急	救急	4/21	腎・泌尿器	腎・泌尿器	救急	精神	精神	4/22	神経	神経	神経	衛・公	衛・公	4/23	腎・泌尿器	生殖	救急	精神	精神		
	12	4/26	衛・公	衛・公	衛・公	運動	運動	4/27		内分泌 本試験				4/28	講義予備日	講義予備日	講義予備日	講義予備日	講義予備日	4/29	昭和の日					4/30	腎・泌尿器	生殖	生殖	衛・公	衛・公		
	13	5/3	憲法記念日					5/4	みどりの日					5/5	こどもの日					5/6				臨床検査 本試験		5/7	講義予備日	講義予備日	講義予備日	講義予備日	講義予備日		
	14	5/10				循環器 本試験		5/11	講義予備日	眼	眼	耳鼻	耳鼻	5/12	救急	腎・泌尿器	腎・泌尿器	精神	精神	5/13	救急	神経	神経	運動	運動	5/14	耳鼻	生殖	生殖	精神	救急		
	15	5/17	衛・公	衛・公	衛・公	運動	運動	5/18	眼	眼	眼	耳鼻	耳鼻	5/19	生殖	腎・泌尿器	腎・泌尿器	精神	精神	5/20	神経	神経	神経	運動	運動	5/21	耳鼻	生殖	生殖	精神	精神		
	16	5/24	衛・公	衛・公	衛・公	精神	精神	5/25	耳鼻	眼	眼	衛・公	衛・公	5/26	救急	生殖	生殖	衛・公	衛・公	5/27	神経	神経	神経	運動	運動	5/28	耳鼻	生殖	生殖	精神	精神		
	17	5/31	衛・公	衛・公	衛・公	精神	精神	6/1	耳鼻	眼	眼	衛・公	衛・公	6/2	生殖	生殖	生殖	生殖	生殖	6/3	神経	神経	神経	運動	運動	6/4	耳鼻	生殖	生殖	精神	精神		
	18	6/7	衛・公	衛・公	衛・公	精神	精神	6/8	耳鼻	眼	眼	人権	地域医療・地域保健Ⅱ	6/9	腎・泌尿器	衛・公	衛・公	生殖	生殖	6/10	神経	神経	神経	運動	運動	6/11	耳鼻	生殖	生殖	衛・公	衛・公		
	19	6/14	衛・公	腎・泌尿器	腎・泌尿器	精神	精神	6/15	講義予備日	講義予備日	講義予備日	衛・公	衛・公	6/16	腎・泌尿器	衛・公	衛・公	衛・公	衛・公	6/17	神経	神経	神経	運動	運動	6/18	耳鼻	生殖	生殖	衛・公	衛・公		
	20	6/21	地域医療・地域保健Ⅱ	腎・泌尿器	腎・泌尿器	衛・公	衛・公	6/22	耳鼻	眼	眼	衛・公	衛・公	6/23	腎・泌尿器	生殖	生殖	生殖	生殖	6/24	神経	神経	神経	運動	運動	6/25	耳鼻	耳鼻	地域医療・地域保健Ⅱ	衛・公	衛・公		
	21	6/28	講義予備日	地域医療・地域保健Ⅱ	地域医療・地域保健Ⅱ	衛・公	衛・公	6/29	衛・公実習①					6/30	衛・公実習②					7/1	衛・公実習③					7/2	第1クール再試期間						
	22	7/5	第1クール再試期間			救急 本試験		7/6	第1クール再試期間					7/7		腎・泌尿器 本試験						7/8						7/9					精神 本試験
	23	7/12						7/13		公衆衛生学 本試験				7/14						7/15		生殖 本試験				7/16	第1クール再試期間						
	休	7/19	夏期休業日					7/20	夏期休業日					7/21	夏期休業日					7/22	海の日					7/23	スポーツの日						
7/26		夏期休業日					7/27	夏期休業日					7/28	夏期休業日					7/29	夏期休業日					7/30	夏期休業日							
8/2		夏期休業日					8/3	夏期休業日					8/4	夏期休業日					8/5	夏期休業日					8/6	夏期休業日							
8/9		振替休日(山の日)					8/10	夏期休業日					8/11	夏期休業日					8/12	夏期休業日					8/13	夏期休業日							
8/16		夏期休業日					8/17	夏期休業日					8/18	夏期休業日					8/19	夏期休業日					8/20	夏期休業日							

4年生(VII・VIII期)カリキュラム

※担当の教室・教員等は各教室ページを確認してください。

※講義は主として病院棟4階 臨床講堂Ⅰで行われますが、詳細は掲示または講義内等で通知します。

第3クール

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日										
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	
24	8/23		衛生学 本試験				8/24						8/25			神経 本試験			8/26						8/27		耳鼻 本試験				
25	8/30		運動 本試験				8/31						9/1		眼 本試験				9/2	第1・2クール再試験期間		講義予備日	講義予備日		9/3	講義予備日	リウマチ	リウマチ	小児科学	小児科学	
26	9/6	画像医学	皮膚	皮膚	加齢と老化	小児科学	9/7	リハビリ	歯科	歯科	病理診断	病理診断	9/8	講義予備日	講義予備日	画像医学	リハビリ	リハビリ	9/9	画像医学	講義予備日	講義予備日	病理診断	病理診断	9/10	講義予備日	リウマチ	画像医学	小児科学	小児科学	
27	9/13	画像医学	皮膚	特別講義 (生命倫理)	加齢と老化	緩和医療	9/14	リハビリ	歯科	歯科	病理診断	病理診断	9/15	画像医学	感染・腫瘍免疫	感染・腫瘍免疫	リハビリ	リハビリ	9/16	医療安全	歯科	歯科	病理診断	病理診断	9/17	小児科学	画像医学	画像医学	リウマチ	リウマチ	
28	9/20	敬老の日					9/21	リハビリ	歯科	人権	病理診断	病理診断	9/22	画像医学	感染・腫瘍免疫	感染・腫瘍免疫	小児科学	小児科学	9/23	秋分の日					9/24	感染・腫瘍免疫	小児科学	小児科学	講義予備日	講義予備日	
29	9/27	画像医学	皮膚	皮膚	加齢と老化	緩和医療	9/28	東洋	東洋	東洋	リウマチ	リウマチ	9/29	放射線治療	皮膚	皮膚	病理診断	病理診断	9/30	医療安全	医療情報	医療情報	皮膚	講義予備日	10/1	感染・腫瘍免疫	放射線治療	放射線治療	小児科学	小児科学	
30	10/4	腫瘍内科学	講義予備日	講義予備日	加齢と老化	緩和医療	10/5	東洋	東洋	東洋	リハビリ	医療安全	10/6	感染制御部	皮膚	皮膚	小児科学	小児科学	10/7	リハビリ	医療情報	医療情報	病理診断	病理診断	10/8	感染・腫瘍免疫	小児科学	小児科学	特別講義 (ワークライフ バランス)	講義予備日	
31	10/11	腫瘍内科学	医と法	医と法	講義予備日	講義予備日	10/12		歯科 本試験		形成	形成	10/13	感染制御部	皮膚	皮膚	小児科学	小児科学	10/14	在宅医療	医療情報	医療情報	病理診断	病理診断	10/15	感染・腫瘍免疫	小児科学	小児科学	特別講義 (地域医・保 Ⅱ)	特別講義 (地域医・保 Ⅱ)	
32	10/18	講義予備日	皮膚	皮膚	病理診断	病理診断	10/19	東洋	東洋	東洋	病理診断	病理診断	10/20		画像・放治療 本試験				10/21	在宅医療	医療情報	医療安全	講義予備日	東洋	10/22	大学祭(10/22~10/24)					
33	10/25	講義予備日	小児科学	小児科学	病理診断	病理診断	10/26		リウマチ 本試験		形成	形成	10/27		リハビリ 本試験		医と法	医と法	10/28	感染・腫瘍免疫	感染・腫瘍免疫	医療安全	病理診断	病理診断	10/29	講義予備日	講義予備日	講義予備日	形成	形成	
34	11/1		小児科学	小児科学	個人情報	個人情報	11/2		東洋 本試験		形成		11/3	文化の日					11/4		医療情報・個人情報 本試験				11/5						
35	11/8				病理診断 本試験		11/9						11/10		皮膚 本試験				11/11							11/12		感染・腫瘍免疫 本試験			
36	11/15		小児科学 本試験				11/16	第1・2・3クール再試験期間					11/17	第1・2・3クール再試験期間					11/18	第1・2・3クール再試験期間					11/19	第1・2・3クール再試験期間					
37	11/22	第1・2・3クール再試験期間					11/23	勤労感謝の日					11/24	第1・2・3クール再試験期間					11/25	第1・2・3クール再試験期間					11/26	第1・2・3クール再試験期間					
38	11/29	第1・2・3クール再試験期間					11/30	第1・2・3クール再試験期間					12/1	第1・2・3クール再試験期間					12/2	第1・2・3クール再試験期間					12/3	第1・2・3クール再試験期間					
(1)	12/6	臨床実習入門①					12/7	臨床実習入門②					12/8	臨床実習入門③					12/9	臨床実習入門④					12/10	臨床実習入門⑤					
(2)	12/13	臨床実習入門⑥					12/14	臨床実習入門⑦					12/15	臨床実習入門⑧					12/16	臨床実習入門⑨					12/17	臨床実習入門⑩					
休	12/20	冬期休業日					12/21	冬期休業日					12/22	冬期休業日					12/23	冬期休業日					12/24	冬期休業日					
	12/27	冬期休業日					12/28	冬期休業日					12/29	冬期休業日					12/30	冬期休業日					12/31	冬期休業日					
(3)	1/3	冬期休業日					1/4							1/5	CBT					1/6	CBT(予備日)					1/7	臨床実習入門⑪				
(4)	1/10	成人の日					1/11	臨床実習入門⑫					1/12	OSCE(予備日)					1/13	OSCE					1/14						
(5)	1/17	学年末休業日					1/18	学年末休業日					1/19	学年末休業日					1/20	学年末休業日					1/21	OSCE再試験					
(6)	1/24	学年末休業日 (オリエンテーション予備日)					1/25	学年末休業日 (オリエンテーション予備日)					1/26	学年末休業日 (オリエンテーション予備日)					1/27	学年末休業日 (オリエンテーション予備日)					1/28	CBT再試験					
(7)	1/31	オリエンテーション					2/1	看護体験実習					2/2	看護体験実習					2/3	看護体験実習					2/4	看護体験実習					
(8)	2/7	臨床実習					2/8	臨床実習					2/9	臨床実習					2/10	臨床実習 (OSCE本試験予備日)					2/11	建国記念の日					
(9)	2/14	臨床実習					2/15	臨床実習					2/16	臨床実習					2/17	臨床実習					2/18	臨床実習 (OSCE再試験予備日)					

※VII・VIII期の臨床医学講義(主題別)については、すべて実務経験のある教員(大学附属病院等における勤務経験のある医師等)によって実施されている。

5年生(IX・X期)カリキュラム

※IX・X期の臨床実習については、すべて実務経験のある教員(大学附属病院等における勤務経験のある医師等)によって実施されている。

曜	1	2	3	4	5
	8:50~10:00	10:10~11:20	11:30~12:40	13:40~14:50	15:00~16:10
月	臨 床 実 習				
火	臨 床 実 習				
水	臨 床 実 習				
木	臨 床 実 習				
金	臨 床 実 習				

2月1日(月)~2月5日(金) 1W オリエンテーション
 2月15日(月)~7月30日(金) 24W 臨床実習
 8月23日(月)~12月24日(金) 18W 臨床実習
 1月10日(月)~2月4日(金) 4W 臨床実習

6年生(XI・XII期)カリキュラム

※XI・XII期の臨床実習については、すべて実務経験のある教員(大学附属病院等における勤務経験のある医師等)によって実施されている。

曜	1	2	3	4	5
	8:50~10:00	10:10~11:20	11:30~12:40	13:40~14:50	15:00~16:10
月	臨 床 実 習				
火	臨 床 実 習				
水	臨 床 実 習				
木	臨 床 実 習				
金	臨 床 実 習				

令和2年

12月14日(月)~12月25日(金) 2W

令和3年

1月18日(月)~4月23日(金) 14W 選択制臨床実習

5月10日(月)~7月16日(金) 10W 選択制臨床実習

※学年を半数に分けて実施する期間含む

7月20日(火) 1限~2限

3限

4限

5限

衛生学・公衆衛生学

Post-CC OSCE 説明会

知的財産権

薬害問題

7月29日(木)

Post-CC OSCE (1日目)

(Post Clinical Clerkship OSCE)

7月30日(金)

Post-CC OSCE (2日目)

9月~11月

卒業試験

※気象警報発令等によりPost-CC OSCEが延期となった場合の日程

9月2日(木)

Post-CC OSCE (1日目)

9月3日(金)

Post-CC OSCE (2日目)

The screenshot displays the APRIN e-learning program interface. On the left, there are sections for 'あなたの情報' (Your Information) and '受講者機能' (Learner Functions). The main area is titled 'APRIN事務局からのお知らせ' (Notice from APRIN Secretariat) and '受講中のコース' (Courses Being Taken). Under '受講中のコース', there are three course categories: '人体病理学講座' (Human Pathology Course) with 2 units remaining, '分子遺伝学講座' (Molecular Genetics Course) with 1 unit remaining, and '医学研究者推奨コース' (Recommended Course for Medical Researchers) with 15 units remaining. The recommended course includes 15 sub-topics such as '責任ある研究者の行動について' (Responsible Conduct of Research) and '研究における不正行為' (Research Misconduct).

選択中のコースから

医学研究者推奨コース 15 単元

を受講する。

ただし、以下の講座への配属を希望する者は各コースも受講すること。

- ・ 人体病理学講座
- ・ 分子遺伝学講座

各単元は日本語か英語のどちらかを受講で良い。

最後のクイズに解答し、80%以上の正答でその章を修了とする。

受講、修了期限は令和4年3月11日（金）とする。

教育研究開発センター (cerd@wakayama-med.ac.jp)

(医療入門)

ケア マインド 教育 〈 A 3 〉

オーガナイザー

教育研究開発センター

保健看護学部

保健看護学部

教養・医学教育大講座 哲学

薬学部

薬学部

薬学部

教授 村田 顕也

教授 山口 雅子

教授 水越 正人

准教授 竹山 重光

教授 安原 智久

教授 須野 学

助教 永田 実沙

I 一般学習目標

医療人を志すものとして知識・技能の習得のみならず、病める人の視点で考えられる人間形成を目指す。

また、行政・司法を含めた社会制度を知ることにより、個々の患者の社会的背景、支援の状況についての理解を深める。本講義は、医学部・保健看護学部・薬学部の共通講義である。多職種連携教育を通して相互理解を深め、患者中心の医療を行うための各自の役割を学ぶ。

II 個別学習目標

1. 医療において病める人の視点で考えることの重要性について述べるができる。
2. チーム医療の状況、重要性について述べるができる。
3. 患者個人として疾患の受け取り方、対応の仕方に多様性があることを説明できる。
4. 疾病の罹患に伴う精神的、経済的、社会的負担を、体験を通して説明できる。
5. 疾患の対応、支援について多くの職種が関わっていることを述べるができる。
6. 患者のみでなく、患者の家族への対応、支援の方法について述べるができる。
7. 疾患について、医学的な支援の状況と限界について述べるができる。
8. 疾患について、行政からの支援の状況について述べるができる。
9. 疾患について、地域社会からの支援について述べるができる。
10. 薬害について理解し、支援について述べるができる。
11. 障害者医療について述べるができる。
12. 神経難病・遺伝性疾患を有する患者の在宅医療の問題点について述べるができる。
13. 地域・僻地医療の現場での取り組みについて説明できる。

III 教育内容

講義項目と担当者

1. 本年度の講師については、患者および患者の会、福祉行政、司法、地域医療の実務者をお願いする予定である。詳しい内容については別途明らかにする。
2. Early Exposure (EE) : 和歌山県下の医療施設で現場の医療を体験し、その内容を報告会で発表する。
期間・予定施設については別途明らかにする。

IV 学習および教育方法

教官による疾患の概略講義後、①患者本人・家族による疾患に関する体験談 ②患者を支援する人々の考えを話していただく。

グループワーク (GW) では医学部・保健看護学部・薬学部学生混合のグループ分けを行い、グループ毎にテーマを設定し 自己学習・発表・討論を行う。最終日には参加者全員の前で発表する。

V 評価の方法

授業への出席および授業態度 (20%)、EE 感想文・各講義や GW で課されたレポート (70%)、EE や GW での発表内容 (10%) により評価する。EE や GW での発表内容は、学生も評価に参加する。

評価の基準は大学の基準とする。

講義日程表 ※日程・内容は変更になることがあります。

No.	月日	曜日	時限	項目	担当	
1	R3.5.11	(火)	4	オリエンテーション	3学部合同	
2	R3.5.18	(火)	4	視覚障害(講義+GW)	保健看護学部	山口
3	R3.5.25	(火)	4	医療人類学(講義+GW)	保健看護学部	山口
4	R3.6.1	(火)	4	医療人類学(和歌山の人々の暮らし)(講義)	保健看護学部	山口
5	R3.6.8	(火)	4	がん(講義+GW)	保健看護学部	山口
6	R3.6.15	(火)	4	セルフメディケーション(講義)	薬学部	須野
7	R3.6.22	(火)	4	セルフメディケーション(GW)	薬学部	須野
8	R3.6.29	(火)	4	セルフメディケーション(発表)	薬学部	須野
9	R3.7.6	(火)	4	ダウン症	医学部	村田
10	R3.10.5	(火)	4	医療人類学(GW)	保健看護学部	山口
11	R3.10.12	(火)	4	医療人類学(発表)	保健看護学部	山口
12	R3.10.19	(火)	4	薬害B型肝炎	医学部	村田
13	R3.10.26	(火)	4	医学部(GW)	医学部	村田
14	R3.11.2	(火)	4	発表1	医学部	村田
15	R3.11.9	(火)	4	発表2	医学部	村田
16	R3.11.16	(火)	4	薬物乱用(講義)	薬学部	安原
17	R3.11.30	(火)	4	薬物乱用(GW)	薬学部	安原
18	R3.12.7	(火)	4	薬物乱用(発表)	薬学部	安原

グループディスカッション練習方法

Microsoft Teams

検索

一般 投稿 ファイル Class Notebook 課題 成績 出席

ケアマインド 出席確認

CERD1@wakayamamed.onmicrosoft.com さん、このフォームを送信すると、所有者にあなたの名前とメールアドレスが表示されます。

* 必須

グループディスカッション練習方法

本日の出席登録はこちらから

事前に割り振られたgroupのチャンネルに入ってください。それぞれのgroupでディスカッションをしていきます。

Microsoft Teams

検索

医療入門 (ケアマインド教育)

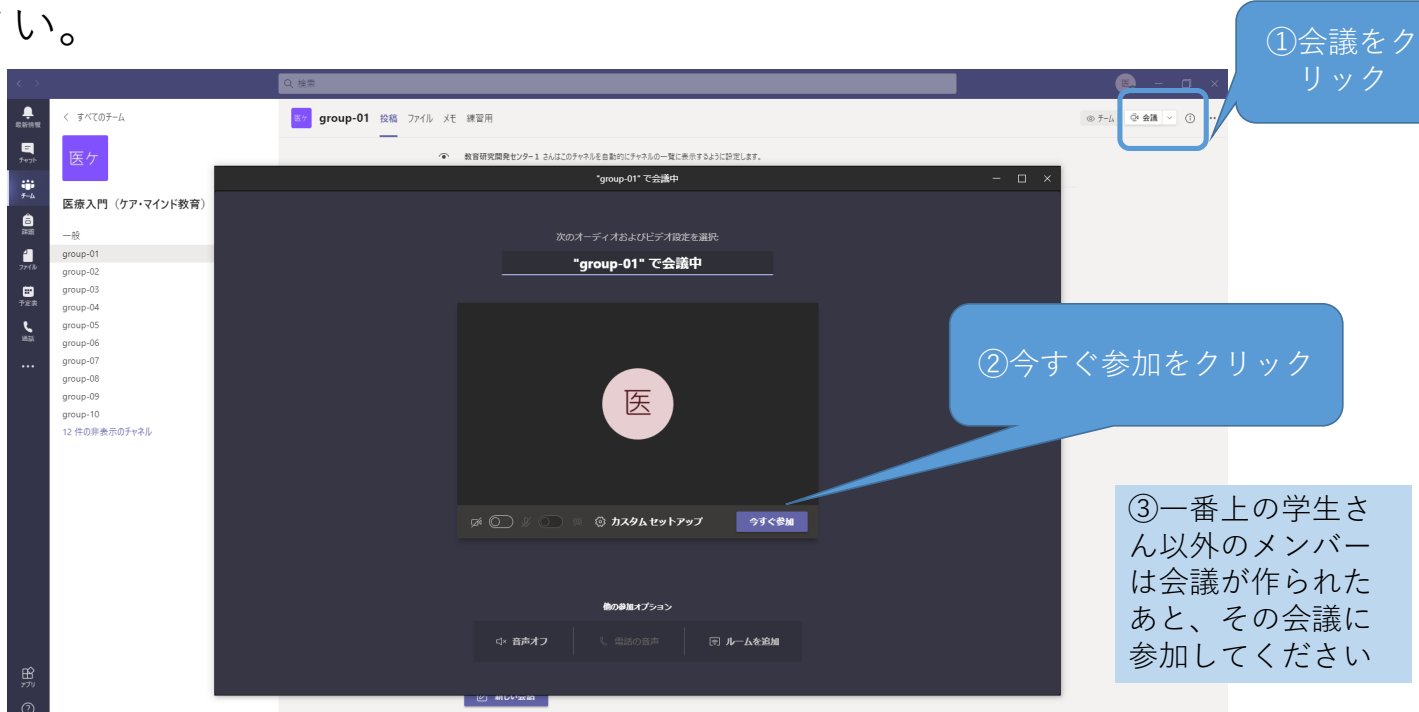
group 08
group 12
group 13
group 14
group 15
group 16
group 17
group 18
group 19
group 20
group 21
group 22
group 23
group 24
group 25
group 26
group 27
group 28
group 29
group 30
group 31
group 32

group 11
22件の非表示のチャンネル

Group11~32は隠れています。「22件の非表示のチャンネル」をクリックすると出てきます。

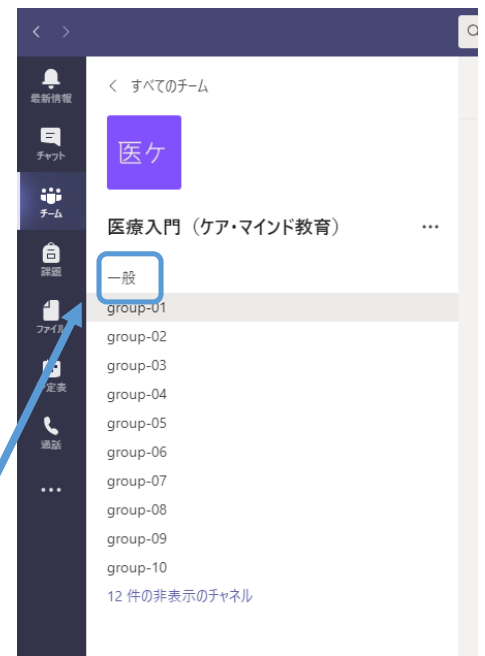
本日の議題：自己紹介

- 各グループの名簿の一番上の学生さんが新しい会議を始めてください。



本日の議題：自己紹介

- カメラ・マイクのon/offはグループ内で決めてください。どちらでも可。
- チャットでの自己紹介でも可能です。
- 約10分間（戻る時間をアナウンスします）
- 自己紹介が終われば、それぞれのgroupのチャンネルの会議を退出し、「一般」チャンネルの会議に入ってきてください。
- 我々も進行状況を確認するため、チャンネルに入るかもしれません。
- 気にしないで、話を進めてください。



グループNo.	学籍番号	学部	氏名	ふりがな
1		医		
1		医		
1		医		
1		香		
1		香		
1		香		
1		薬		
1		薬		
1		薬		
2		医		
2		医		
2		医		
2		香		
2		香		
2		香		
2		薬		
2		薬		
3		医		
3		医		
3		医		
3		香		
3		香		
3		香		
3		薬		
3		薬		
3		薬		
4		医		
4		医		
4		医		
4		香		
4		香		
4		香		
4		薬		
4		薬		
4		薬		
5		医		
5		医		
5		医		
5		香		
5		香		
5		香		
5		薬		
5		薬		
5		薬		
6		医		
6		医		
6		医		
6		香		
6		香		
6		香		
6		薬		
6		薬		
6		薬		
7		医		
7		医		
7		医		
7		香		
7		香		
7		香		
7		薬		
7		薬		
7		薬		
8		医		
8		医		
8		医		
8		香		
8		香		
8		香		
8		薬		
8		薬		
8		薬		
9		医		
9		医		
9		医		
9		香		
9		香		
9		香		
9		薬		
9		薬		
9		薬		
10		医		
10		医		
10		医		
10		香		
10		香		
10		香		
10		薬		
10		薬		
10		薬		
11		医		
11		医		
11		医		
11		香		
11		香		
11		香		
11		薬		
11		薬		
11		薬		
12		医		
12		医		
12		医		
12		香		
12		香		
12		香		
12		薬		
12		薬		
12		薬		

グループNo.	学籍番号	学部	氏名	ふりがな
13		医		
13		医		
13		医		
13		香		
13		香		
13		香		
13		薬		
13		薬		
13		薬		
14		医		
14		医		
14		医		
14		香		
14		香		
14		香		
14		薬		
14		薬		
14		薬		
15		医		
15		医		
15		医		
15		香		
15		香		
15		香		
15		薬		
15		薬		
15		薬		
16		医		
16		医		
16		医		
16		香		
16		香		
16		香		
16		薬		
16		薬		
16		薬		
17		医		
17		医		
17		医		
17		香		
17		香		
17		香		
17		薬		
17		薬		
17		薬		
18		医		
18		医		
18		医		
18		香		
18		香		
18		香		
18		薬		
18		薬		
18		薬		
19		医		
19		医		
19		医		
19		香		
19		香		
19		香		
19		薬		
19		薬		
19		薬		
20		医		
20		医		
20		医		
20		香		
20		香		
20		香		
20		薬		
20		薬		
20		薬		
21		医		
21		医		
21		医		
21		香		
21		香		
21		香		
21		薬		
21		薬		
21		薬		
22		医		
22		医		
22		医		
22		香		
22		香		
22		香		
22		薬		
22		薬		
22		薬		
23		医		
23		医		
23		医		
23		香		
23		香		
23		香		
23		薬		
23		薬		
23		薬		
24		医		
24		医		
24		医		
24		香		
24		香		
24		香		
24		薬		
24		薬		
24		薬		

グループNo.	学籍番号	学部	氏名	ふりがな
25		医		
25		医		
25		医		
25		香		
25		香		
25		香		
25		薬		
25		薬		
25		薬		
26		医		
26		医		
26		医		
26		香		
26		香		
26		香		
26		薬		
26		薬		
26		薬		
27		医		
27		医		
27		医		
27		香		
27		香		
27		香		
27		薬		
27		薬		
27		薬		
28		医		
28		医		
28		医		
28		香		
28		香		
28		香		
28		薬		
28		薬		
28		薬		
29		医		
29		医		
29		医		
29		香		
29		香		
29		香		
29		薬		
29		薬		
29		薬		
30		医		
30		医		
30		医		
30		香		
30		香		
30		香		
30		薬		
30		薬		
30		薬		
31		医		
31		医		
31		医		
31		香		
31		香		
31		香		
31		薬		
31		薬		
31		薬		
32		医		
32		医		
32		医		
32		香		
32		香		
32		香		
32		薬		
32		薬		
32		薬		

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担 当
1	R3.6.11	(金)	1	和歌山医大を知る 1 (和医大生としての誇りと責務) オリエンテーション (医学概論と早期医療体験学習)		宮下 学長 村田 顕也
2	R3.6.11	(金)	2	和歌山を知る 1 (外から見る和歌山県)	和歌山県 総務部長	田村 一郎
3	R3.6.18	(金)	2	和歌山を知る 2 (救急医療・災害医療)	救急・集中治療 医学講座	加藤 正哉
4	R3.6.25	(金)	1	和歌山医大を知る 2 (コロナウイルス感染症)	微生物学	西尾 真智子
5	R3.6.25	(金)	2	和歌山医大を知る 3 (小児医療の現状)	小児科学	末永 智浩
6	R3.7.2	(金)	1	和歌山を知る 3 (和歌山県の医療)	地域医療支援 センター	上野 雅巳
7	R3.7.2	(金)	2	早期体験実習 代替グループワーク 【グループワークについて】 ※ネットで簡単な調べ物をする予定なので、各自で 必要なツール(スマホ等でも可)を持参。 ※実習セットの中のフェイスシールドを使用。忘れず に持参。	教育研究開発セ ンター	村田 顕也
8	R3.7.9	(金)	1	和歌山を知る 4 (和歌山県の医療の現場)	国保すさみ病院	高垣 有作
9	R3.7.9	(金)	2	エスノグラフィー 情報収集方法	教育研究開発センター	佐々木 洋子
10	R3.8.27	(金)	1	グループワーク報告会1・2⇒※EE実習用 空きコマ		
11	R3.8.27	(金)	2			
12	R3.9.3	(金)	1	グループワーク報告会3・4⇒※早期体験実習代替 講義		
13	R3.9.3	(金)	2			

医学概論Ⅱ 〈P3, C2, C3〉

オーガナイザー

教育研究開発センター 教授 村田 顕也

I 一般学習目標

医学は、病める人の治療はもちろんのこと人々の健康の維持増進を図ることを目標としている。この目標を達成するために、専門職集団である医師には、医業の独占権や自律権や経済的報酬が社会から与えられ、一方社会に対しては、患者の福利優先の原則、患者の自律性に関する原則、社会正義の3原則に加えてプロフェッショナルとしての能力に関する責務を負っている。医学概論Ⅱでは、専門職集団（プロフェッション）と社会との契約を理解し、医師の職業倫理を学ぶ。

II 個別学習目標

1. 医師の基本的責務について説明できる
2. 医師患者関係について説明できる。
3. 医師とその他の医療関係者と連携が理解できる。
4. 医療職（医師（キャリア教育を含む）、看護師、保健師、臨床工学技士、理学療法士・作業療法士など）の役割とチーム医療の一員として医師に要求されることが理解できる。
5. 医師と社会との関係が理解できる。
6. 医療と法律（患者の自己決定権を含む）について説明できる。
7. 臨床倫理の基本的問題が理解できる。
8. 死生学について理解できる。
9. 災害医療の現状と課題を概説できる。
10. 人を対象とする医学研究に関する倫理指針・臨床研究法が理解できる。
11. 臨床研究を行う上でのノウハウや研究の質の担保、国際発信への仕方について理解できる。
12. 知的財産管理や医療シーズを知的財産にし、特許出願まで進める方略が理解できる。
13. 医師のキャリアについて考える事ができる。
14. 医師のワークライフバランスを考える事ができる。

III 教育内容

上記の内容を本学教員および外部講師によるオムニバス形式で行う。

IV 学習および教育方法

講義を中心とし、事例検討やグループワーク演習も取り入れる。

V 評価の方法

各講義のレポート（70%）と授業への出席および授業態度（30%）により評価する。

講 義 日 程 表

※日程・内容等変更することがあります。

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R3.9.30	(木)	4	医師の基本的責務 プロフェッショナリズム	教育研究 開発センター	村田 顕也
2	R3.10.7	(木)	4	医師と患者、医師相互の関係、医師とその他の医療者	教育研究 開発センター	村田 顕也
3	R3.10.14	(木)	4	外科学の歴史からみた良き臨床医のあり方	外科学第2講座	山上 裕機
4	R3.10.21	(木)	4	医療と自然科学	生理学第1	金桶 吉起
5	R3.10.28	(木)	4	病気の原因を探る	分子遺伝学	井上 徳光
6	R3.11.4	(木)	4	臨床倫理入門1(症例提示とグループワーク)	輸血部	西川 彰則
7	R3.11.11	(木)	4	臨床倫理入門2(症例提示とグループワーク)	輸血部	西川 彰則
8	R3.11.18	(木)	4	医療と法律 (医療の倫理規範、患者の権利、医師法)	教養・医学教育 大講座(法学)	神谷 隆一
9	R3.11.25	(木)	4	死生学	月山チャイルド ケアクリニック	窪田 昭男
10	R3.12.2	(木)	4	パラリンピックと和歌山医大	リハビリテーション 医学	田島 文博
11	R3.12.9	(木)	4	キャリアに研究を入れよう	血液内科学	園木 孝志
12	R3.12.16	(木)	4	医師におけるワークライフバランス	島根大学地域医療 支援学講座	佐野千晶
13	R4.1.6	(木)	4	人を対象とする研究	臨床研究センター	下川 敏雄
14	R4.1.13	(木)	4	災害医療(在宅人工呼吸器装着者の災害対策)	和歌山市保健所	谷井 朋子

レポート用紙

学年: /	出席番号: [REDACTED]	学籍番号: [REDACTED]	氏名: [REDACTED]
11月	11日	課題:	

グループになって、移植をするかしないかの話し合いをしたがこれも悩む選択でこれも難しかった。私たちのグループも、患者の希望だからという理由などで移植するほうを選んだ。しかし、患者が希望していれば、「いつでもその通りにするのが良いのか」というのがすごく難かしいと思った。見方によれば、医師の責任のつれのような、さかじこのような感じもある。このような判断はとこれも難かしいと改めて思った。

レポート用紙

学年: /	出席番号: [REDACTED]	学籍番号: [REDACTED]	氏名: [REDACTED]
11月	11日	課題:	

グループで話し合いをする前は、移植をしない方が良いかと思っていまして、話し合いをする中で、新しい考え方や価値観を知り、本当に悩ましい問題だと思いました。医師に話をした後、この問題は、何に何度かぶつかるのかと思うと、自分は最善の判断が出来ると不安な部分、高藤さんが受け付けてくれる人はいれば、何とかなるというのを心に決めて乗り越えようと思いました。

レポート用紙

学年: /	出席番号: [REDACTED]	学籍番号: [REDACTED]	氏名: [REDACTED]
11月	11日	課題: 医学概論Ⅰ	

将来に直結するよう題材として興味深い講義でした。グループで議論する中で、地域確率に付する考えや、お金の関係の価値観は、特に人それぞれだと感じました。特に、患者の意思を尊重するかどうかという問題でも、このようにととる実感があつた。確かに尊重すべき意見であるけれども、医師として持っている知識や経験を伝えることも必要だと感じました。

レポート用紙

学年: /	出席番号: [REDACTED]	学籍番号: [REDACTED]	氏名: [REDACTED]
11月	11日	課題:	

非常に難しい問題でした。グループワークの際に4人のメンバーのうち、2人が「移植をする」、2人が「移植をしない」という意見を持っていました。先生のお話の最後の方に、治る確率の患者を優先すべきかという議論がありましたが、私はそれは命の選別につながるのですべきではないのではないかと感じました。身内が治る可能性が低い患者の場合、治療をやめてほしいと心の底から思う人はいないのではないかと考えるからです。

R3 医学入門スケジュール				
コロナ対策後	対策前			
	4月20日	火	4限	認知症⇒休講
4月27日	4月27日	火	4限	EBM(研究のデザインとエビデンス研究) (臨床研究センター 下川先生)
4月27日		火	5限	認知症(神経精神医学 辻先生)
8月24日	8月24日	火	4限	再生医療 (産業技術総合研究所 原本 悦和 様)
	2月1日	木	1~3限	エスコート実習→中止(課題)
	2月1日	〃	4~5限	実習事前講習→中止
	2月21日 ~ 2月25日	月 ~ 金		地域福祉施設体験実習→中止
	2月28日	月	1~3限	地域福祉施設体験実習報告→中止

医学英語 < P M >

オーガナイザー

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

教員名

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

薬理学講座 講師 陳以珊

遺伝子制御学研究部 Mellissa Alcantara

大森千尋

I 一般学習目標

医学に特化して、学術目的の英語力を磨き、習熟する。アカデミックな英語を深く正確に読むこと、聞いて理解すること、医学論文執筆の基礎、発表の仕方を習得する。

II 個別学習目標

1. 医学に特化した、アカデミックな英語を正しく理解する
2. 医療関連の記事の内容を理解する
3. 医学論文の内容を理解する
4. 医療に関わる表現を聞いて理解する
5. 医学に特化した学術目的のディスカッションをする
6. 医学論文の書き方を学ぶ
7. 医学に特化した学術英語語彙の語源を理解する
8. 医学に特化した学術英語語彙の語源の習得のためのラテン語とギリシア語の文法を理解する
9. 国際保健の現場を知る
10. 医療トピックを踏まえた実用英語に触れる

III 教育内容

- ・総合医学英語を教授する
- ・臨床の場で使われる英語の語彙を教授する
- ・臨床の場で使われる英語の口語表現について教授する
- ・最新の発生病学研究を踏まえたAdvanced Medical English Lesson を教授する
- ・国際保健の現場の様子を教授する

IV 学習および教育方法

辞書を引いて予習することが必要である。

V 評価の方法

授業内試験80%、提出物20%で評価する。

VI 教科書・推薦する参考書

教科書：『総合医学英語テキスト step 1』（メジカルビュー社）

講義日程表(医学英語 廣田)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	R3. 2. 15	月	4	Headache	英語	廣田
2	R3. 2. 15	月	5	Chest Pain	英語	廣田
3	R3. 3. 8	月	4	Cough	英語	廣田
4	R3. 3. 8	月	5	Abdominal Pain	英語	廣田
5	R3. 4. 5	月	4	Dysphagia	英語	廣田
6	R3. 4. 5	月	5	Hearing Loss	英語	廣田
7	R3. 4. 12	月	4	Practical Medical English	英語	陳
8	R3. 4. 12	月	5	Fracture	英語	廣田
9	R3. 4. 19	月	4	Global Health	英語	大森
10	R3. 4. 19	月	5	Pregnancy	英語	廣田
11	R3. 4. 26	月	5	Practical Medical English	英語	Mellissa Alcantura, 廣田
12	R3. 5. 10	月	5	Test	英語	廣田

遺 伝 子 と 遺 伝 子 異 常 < C 2 & C 4 >

オーガナイザー

分子遺伝学講座 教授 井上 徳光

教 員 名

分子遺伝学講座

総合周産期母子医療センター

教授 井上 徳光

病院教授 南 佐和子

講師 片山 圭一

講師 日高 義彦

I 一般学習目標

各種の遺伝性疾患について病態の理解、臨床診断、遺伝学的検査の計画とその結果の評価、および遺伝カウンセリングができるようになるために、遺伝医学の基礎およびその概念を習得する。

II 個別学習目標

1. 遺伝医学の習得の重要性について説明できる。
2. 講義中に紹介される典型的な遺伝性疾患の発症機序、症状、臨床所見、診断のための検査法、予防手段および治療法等を説明できる。
3. 遺伝子多型 (polymorphism) の定義、検出方法およびその利用方法を説明できる。
4. 集団遺伝学の基本概念および Hardy-Weinberg の法則の説明ができる。
5. 変異の種類とその生じ方について説明できる。
6. 機能獲得型変異 (gain-of-function mutation)、機能喪失型変異 (loss-of-function mutation)、優性阻害型変異 (dominant-negative mutation) について、遺伝形式との関連性を含めて説明できる。
7. ハプロ不全 (haploinsufficiency) と 2 ヒットモデルを理解し、これらの機構によって発症する疾患について説明できる。
8. 常染色体性優性遺伝、常染色体性劣性遺伝、X 染色体連鎖性遺伝、Y 染色体連鎖性遺伝等の本質を説明し、それぞれに属す疾患の診断と遺伝カウンセリングに対応できる。
9. 座位異質性 (locus heterogeneity)、アレル異質性 (allelic heterogeneity) 等の専門用語について説明できる。
10. 多面発現 (pleiotropy)、表現度 (expressivity)、浸透率 (penetrance) について具体例も含めて説明できる。
11. 体細胞モザイクと生殖細胞系列モザイクについて理解し、それらが遺伝性疾患の発症に及ぼす影響を説明できる。
12. ミトコンドリア DNA の変異によって生じる遺伝性疾患の特質を説明でき、この遺伝様式を持つ疾患の診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
13. ゲノムインプリンティングや X 染色体不活性化の本質およびその異常による遺伝性疾患を説明できる。
14. 塩基反復配列の延長による疾患および表現促進現象 (anticipation) の本質を説明でき、この部類に属す遺伝性疾患の診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
15. 染色体異常に基づく遺伝性疾患の発症機序につき説明でき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
16. 先天性代謝異常症の発症機序を説明でき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
17. 連鎖解析、連鎖不平衡解析、ゲノムワイド関連解析、エクソーム解析等を用いた遺伝性疾患の同定法について説明できる。
18. 個体発生の主な分子機構およびその異常により生じる疾患を遺伝子レベルで説明でき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
19. 生殖細胞系と体細胞系のそれぞれにおける遺伝子異常が引き起こす疾患の相違点を説明できる。
20. がん遺伝子、がん抑制遺伝子および DNA 修復遺伝子の機能を概説できる。
21. 腫瘍発生に関する遺伝要因と環境要因を概説できる。
22. 遺伝性腫瘍の本質に基づき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
23. 多因子疾患の特徴を理解し、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。

24. 多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。
25. 遺伝子治療を、種々の手法の特徴を含めて説明できる。
26. 薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。
27. 遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。
28. がんの遺伝子検査と分子標的薬の選択法について説明できる。
29. 遺伝性疾患の診断のために臨床上必要な遺伝学的解析方法を選択してその結果を的確に説明できる。
30. 新生児スクリーニング、保因者スクリーニング、および発病リスク検査等について意義、効果、および手技につき説明できる。
31. 出生前診断の意義、手法、解釈について説明できる。
32. 家系図を作成し、遺伝性疾患の再発率を Bayes の定理等を応用して評価できる。
33. 遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。
34. 遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。

III 教育内容

教科書として福嶋義光 監訳 「トンプソン&トンプソン遺伝医学 第2版」 メディカル・サイエンス・インターナショナルを使用する。

○講義項目と担当者

	担当者
1. ヒトの遺伝学的多様性：変異と多型（第4章）	井上
2. 単一遺伝子疾患（第7章）	片山
3. 遺伝性疾患の分子遺伝学原理（第11章）	片山
4. 臨床細胞遺伝学と染色体異常（第5, 6章）	井上
5. ヒト疾患における遺伝学的基礎（第10章）	片山
6. 遺伝性疾患の分子細胞生物学的基礎（第12章）	井上
7. 多因子疾患の遺伝学・集団における遺伝学（第8, 9章）	片山
8. 遺伝性疾患の治療（第13章）	日高
9. リスク評価と遺伝カウンセリング（第16章）	日高
10. 個別化医療・遺伝医学の倫理的社会的課題（第18,19章）	日高
11. 出生前診断とスクリーニング（第17章）	南
12. 発生遺伝学と先天異常（第14章）	井上
13. 腫瘍遺伝学と腫瘍ゲノム学（第15章）	井上

IV 学習および教育方法

講義形式による。Power Pointスライド、板書、プリント、書画カメラ等を利用する。

V 評価の方法

1. 講義中に随時小テストを行うこともある。
2. 講義につき2 / 3以上の出席のない者は該当する試験を受けることができない（出席は名箋への署名により厳格に取り扱う。偽署名が判明した場合は3回分の欠席とみなす。天災、病気、事故、通学列車の運行遅延、忌引き等による欠席は公的証明書に基づき欠席扱いとはしない）。
3. 筆記試験結果を合計して最終点を計算する。小テストの結果の最終評価への繰り入れは、当該担当教員の判断による。

VI 推薦する参考書

- 福嶋義光 監訳 「トンプソン&トンプソン遺伝医学」第2版 メディカル・サイエンス・インターナショナル
- Nussbaum R., L., McInnes, R. R., Willard, H. F. 「Thompson & Thompson Genetics in Medicine」 8th edition Elsevier (トンプソン&トンプソン遺伝医学の英語版)

- 福嶋義光 監修、櫻井晃洋 古庄知己 編集「新遺伝医学優しい系統講義19講」メディカル・サイエンス・インターナショナル
- 日本人類遺伝学会編 「コアカリ準拠臨床遺伝学テキストノート」 診断と治療社
- 村松正實、木南 凌、笹月健彦、辻省二 監訳 「ヒトの分子遺伝学」第4版 メディカル・サイエンス・インターナショナル
- Strachan, T., Read, A. 「Human Molecular Genetics」5th edition Garland Science (ヒトの分子遺伝学の新版)
- 菅野純夫、福嶋義光 監訳 「ゲノム医学 ゲノム情報を活かす医療のために」 メディカル・サイエンス・インターナショナル
- 服部成介、水島一菅野純子 「よくわかるゲノム医学」 羊土社
- 渡邊淳 「診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学」 羊土社
- 水島一菅野純子 「マンガでわかるゲノム医学」 羊土社
- Jorde, L. B., Carey, J. C., Bamshad, M. J. 「Medical Genetics 6th edition」 Elsevier

講義日程表

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	2月18日	木	4	ヒトの遺伝学的多様性:変異と多型	分子遺伝	井上
2	2月18日	木	5	単一遺伝子疾患	分子遺伝	片山
3	3月4日	木	4	遺伝性疾患の分子遺伝学原理	分子遺伝	片山
4	3月4日	木	5	遺伝性疾患の分子遺伝学原理	分子遺伝	片山
5	3月11日	木	4	臨床細胞遺伝学と染色体異常	分子遺伝	井上
6	3月11日	木	5	臨床細胞遺伝学と染色体異常	分子遺伝	井上
7	4月8日	木	4	ヒト疾患における遺伝学的基礎	分子遺伝	片山
8	4月8日	木	5	ヒト疾患における遺伝学的基礎	分子遺伝	片山
9	4月15日	木	4	遺伝性疾患の分子細胞生物学的基礎	分子遺伝	井上
10	4月15日	木	5	多因子疾患の遺伝学・集団における遺伝学	分子遺伝	片山
11	4月22日	木	4	遺伝性疾患の治療	分子遺伝	日高
12	4月22日	木	5	リスク評価と遺伝カウンセリング	分子遺伝	日高
13	5月6日	木	4	個別化医療・遺伝医学の倫理的社会的課題	分子遺伝	日高
14	5月6日	木	5	出生前診断とスクリーニング	総合周産期母子医療	南
15	5月13日	木	4	発生遺伝学と先天異常	分子遺伝	井上
16	5月13日	木	5	腫瘍遺伝学と腫瘍ゲノム学	分子遺伝	井上

臨床実習日程(選択制)
(令和2年12月～)

周期	日 割 り	備 考
	2月10日 ～ 11月27日	※臨床実習
1	12月14日 ～ 12月25日	
休	12月28日 ～ 1月15日	休み
2	1月18日 ～ 1月29日	
3	2月1日 ～ 2月12日	2/11建国記念日
4	2月15日 ～ 2月26日	2/23天皇誕生日
5	3月1日 ～ 3月12日	
6	3月15日 ～ 3月26日	
7	3月29日 ～ 4月9日	
8	4月12日 ～ 4月23日	
休	4月26日 ～ 5月7日	4/29昭和の日、5/3憲法記念日 5/4みどりの日、5/5こどもの日
9	5月10日 ～ 5月21日	
10	5月24日 ～ 6月4日	
11	6月7日 ～ 6月18日	
12	6月21日 ～ 7月2日	
13	7月5日 ～ 7月16日	

令和4年度6年生選択制臨床実習 院内各診療科受入枠（人数）

期間（2W） 所属名	①クール	②クール	③クール	④クール	⑤クール	⑥クール	⑦クール	⑧クール	⑨クール	⑩クール	⑪クール	⑫クール	⑬クール	2週受入	備考
	1/11 ～ 1/21	1/24 ～ 2/4	2/7 ～ 2/18	2/21 ～ 3/4	3/7 ～ 3/18	3/22 ～ 4/1	4/4 ～ 4/15	4/18 ～ 4/28	5/9 ～ 5/20	5/23 ～ 6/3	6/6 ～ 6/17	6/20 ～ 7/1	7/4 ～ 7/15		
〔2クール受入パターン〕															
内科学1	5名	5名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名		
内科学2	6名	6名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
内科学3	5名	5名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名		
内科学4	6名	6名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
神経精神医学	5名	5名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名		
小児科学	5名	5名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
皮膚科学	6名	6名	0名	0名	0名	0名	0名	3名	3名	3名	3名	3名	0名		
脳神経内科学	6名	6名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	0名	3名	3名	3名	3名		
リハビリテーション科学	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
腎臓内科学	5名	5名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
血液内科学	4名	4名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名		
病理診断科	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名		2クール（4週）連続で選択が必要
放射線医学	5名	5名	3名	3名	3名	3名	0名	3名	0名	3名	3名	3名	3名		
リウマチ・膠原病科学	5名	5名	2名	2名	2名	0名	2名	0名	2名	0名	0名	2名	2名		
脳神経外科学	5名	5名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名		
外科学1	心臓血管外科（※）	2名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名		
	呼吸器外科	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名		
	乳腺外科	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名		
外科学2	5名	5名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
整形外科	5名	5名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
泌尿器科学	3名	3名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名		
眼科学	5名	5名	3名	3名	3名	3名	0名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	5名	5名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
産科・婦人科学	5名	5名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名		
歯科口腔外科学	5名	5名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名		
麻酔科学	5名	5名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
救急集中治療医学	5名	5名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名		
形成外科学	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名		
合計	121名	121名	62名	62名	62名	60名	56名	63名	59名	63名	63名	65名	62名		

内科系合計	67名	67名	31名	31名	31名	29名	28名	32名	28名	32名	32名	34名	31名	473名
外科系合計	54名	54名	31名	31名	31名	31名	28名	31名	31名	31名	31名	31名	31名	446名

1クールあたりの実習人数	1～2クール (院内2クール選択)	3～8クール (院内3クール選択+3クール自習)	9～13クール (院内と院外で各2クール選択+1クール自習)
	院内：105名 自習：なし 院外：なし	院内：53名程度 (内科系27名程度+外科系27名程度) 自習：53名程度 院外：なし	院内：42名程度 (内科系21名程度 +外科系21名程度) 自習：21名程度 院外：42名程度

※ 院内・院外、内科・外科を可能な限り均等に組み合わせてください。（個人単位及びクール単位の両方とも）
<必ず院内の内科系、院内の外科系、院外の内科系、院外の外科系を各1クール選択してください。>

基礎医学英語 < P M >

オーガナイザー

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

教 員 名

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

非常勤講師 勝又泰洋

薬理学講座 講師 陳以珊

遺伝子制御学研究部 Alvin Acebedo

大森千尋

I 一般学習目標

一般学術目的の英語力を磨き、習熟する。基礎的な一般学術英語を深く正確に読むこと、聞いて理解すること、医学論文執筆の基礎、発表の仕方の基礎を習得する。

II 個別学習目標

1. 基礎的な一般学術英語を正しく理解する
2. 基礎的な医療関連の記事の内容を理解する
3. 基礎的な医学論文の内容を理解する
4. 医療に関わる表現を聞いて理解する
5. 基礎的な学術目的のディスカッションをする
6. 医学論文の書き方の基礎を学ぶ
7. 学術英語語彙の語源を理解する
8. 学術英語語彙の語源の習得のためのラテン語とギリシア語の文法を理解する
9. 基礎的な国際保健の現場を知る
10. 基礎的な医療トピックを踏まえた実用英語に触れる

III 教育内容

- ・ 基礎的な総合医学英語を教授する
- ・ 臨床の場で使われる基礎的な英語の語彙を教授する
- ・ ギリシア語・ラテン語に触れながら、学術英語語彙の語源を教授する
- ・ 臨床の場で使われる英語の口語表現について教授する
- ・ 最新の発生医学研究を踏まえた Practical Medical English Lesson を教授する
- ・ 国際保健の現場の様子を教授する

IV 学習および教育方法

辞書を引いて予習することが必要である。

V 評価の方法

授業内試験 80%、提出物 20% で評価する。

VI 教科書・推薦する参考書

教科書：『総合医学英語テキスト step 1』（メジカルビュー社）

参考書：吉田和彦『語源で覚える医学英語辞典』（東京：メジカルビュー社、1995年）

平井美津子『語源で学ぶメディカル・イングリッシュ 550』（東京：南雲堂、2011年）

講義日程表(基礎医学英語 廣田 勝又)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	R3. 9. 28	火	3	医学英単語とその語源を学ぶにあたって(1)	英語	勝又
2	R3. 9. 28	火	4	医学英単語とその語源を学ぶにあたって(2)	英語	勝又
3	R3. 10. 5	火	3	生死にかんする英単語	英語	勝又
4	R3. 10. 5	火	4	異常にかんする英単語	英語	勝又
5	R3. 10. 12	火	3	身体部位にかんする英単語(1)	英語	勝又
6	R3. 10. 12	火	4	身体部位にかんする英単語(2)	英語	勝又
7	R3. 10. 26	火	4	身体部位にかんする英単語(3)	英語	勝又
8	R3. 10. 26	火	5	医学思想文献講読(1)	英語	勝又
9	R3. 10. 29	金	4	Global Health	英語	大森
10	R3. 10. 29	金	5	Fever	英語	廣田
11	R3. 11. 2	火	4	治療にかんする英単語	英語	勝又
12	R3. 11. 2	火	5	医学思想文献講読(2)	英語	勝又
13	R3. 11. 5	金	4	Practical Medical English	英語	陳
14	R3. 11. 5	金	5	Anemia	英語	廣田
15	R3. 11. 9	火	3	医学思想文献講読(3)	英語	勝又
16	R3. 11. 9	火	4	まとめ	英語	勝又
17	R3. 11. 12	金	4	Practical Medical English	英語	Alvin Acebedo
18	R3. 11. 12	金	5	Dehydration	英語	廣田
19	R3. 11. 19	金	3	Cough	英語	廣田
20	R3. 11. 19	金	4	Obesity	英語	廣田
21	R3. 12. 3	金	3	Headache	英語	廣田
22	R3. 12. 3	金	4	Test	英語	廣田

衛生学・公衆衛生学〈B1〉

オーガナイザー

衛生学 藤吉 朗
公衆衛生学 牟礼 佳苗

I 一般学習目標

個人および集団の疾病予防と健康の維持増進を図るための方法論を学び、具体的に社会に応用する能力を身につける。

II 個別学習目標

1. 個人および集団の健康の概念を認識し、健康現象が社会・経済および文化のありかたによって変化することを説明することができる。
2. 健康に影響を与える諸要因(Host, Environment, Agent)を明らかにし、疾病予防や健康の維持増進に役立てることができる。
3. 生活あるいは職場環境における良好な要因を強化し、不良な要因を制御あるいは排除する理論や技術の原則を説明することができる。
4. 集団における疾病の頻度と分布を測定することができる。
5. 保健衛生水準の現状を把握し、問題点を指摘し、解決することができる。
6. 人口統計、保健統計を理解し、既存資料を活用することができる。
7. フィールド調査によるデータベースの構築、データ解析の情報科学的技法を修得し、公衆衛生活動に応用することができる。
8. 乳幼児から老人に至るライフステージの各段階にみられる健康問題を客観的に記述し評価することができ、組織的な活動による解決をすることができる。
9. 公衆衛生活動および実際の保健医療行政を説明することができる。
10. 社会保障、社会福祉制度の概要を説明することができる。
11. 国内及び国際的な健康問題や保健医療サービスに対応する組織や活動を理解し、現状に対する批判と望ましいシステムを考究することができる。
12. 公衆衛生活動におけるチームワークの重要性を認識し、協調的態度をとることができる。

III 講義項目と担当者

(別紙)

IV 推薦テキスト及び参考書

(1) テキスト

- | | | | |
|------------------------|----------|----|----------|
| 1. NEW予防医学・公衆衛生学 改訂第4版 | 南江堂 | 本体 | 6,300円 |
| 2. 公衆衛生マニュアル2019 | 南山堂 | 本体 | 5,500円 |
| 3. 疫学マニュアル 改訂7版 | 南山堂 | 本体 | 4,200円 |
| 4. シンプル衛生公衆衛生学2020 | 南江堂 | 本体 | 2,400円 |
| 5. 公衆衛生がみえる 最新版 | メテックメディア | 本体 | 3,600円予定 |

(2) 参考書

- | | | | |
|--|-----------------------------|----|--------|
| 1. 厚生指標 臨時増刊 国民衛生の動向2018/2019 | 厚生労働統計協会 | 本体 | 2,315円 |
| 2. 図説 環境科学 | 朝倉書店 | 本体 | 5,200円 |
| 3. 産業医の職務Q&A 第10版 | 産業医学振興財団 | 本体 | 3,000円 |
| 4. 労働衛生のしおり 平成30年度 | 中央労働災害防止協会 | 本体 | 600円 |
| 5. 疫学 | 南江堂 | 本体 | 2,800円 |
| 6. 新しい疫学 | 日本公衆衛生協会 | 本体 | 3,400円 |
| 7. Introduction to Modern Epidemiology | Epidemiology Resources Inc. | | |
| 8. Foundations of Epidemiology | Oxford University Press | | |

9. Basic Epidemiology	World Health Organization		
10. Public Health and Preventive Medicine 15th	Appleton & Lange Edition		
11. 医学統計学 ハンドブック	朝倉書店	本体	28,000 円
12. 医学への統計学 第3版	朝倉書店	本体	5,400 円
13. 数学いらすの医科統計学 第2版	メディカル・サイエンス・インターナショナル	本体	5,076 円
14. Epidemiology - An Introduction -	Oxford University Press		
15. Fundamentals of Biostatistics	Duxbury Press		
16. A Dictionary of Epidemiology	Oxford University Press		
17. 今日の疫学 第2版	医学書院	本体	3,800 円
18. ケースメソッドによる公衆衛生教育 第2巻, 第3巻, 第4巻, 第5巻	篠原出版新社	本体	2,000~2,500 円
19. わかりやすい医学統計学	メディカルトリビューン	本体	5,600 円
20. 新版 入門 医療統計学	東京図書	本体	3,800 円
21. Modern Epidemiology	Lippincott Williams & Wilkins		
22. ロスマンの疫学 第2版	篠原出版新社	本体	2,500 円
23. 疫学 医学的研究と実践のサイエンス	メディカル・サイエンス・インターナショナル	本体	5,600 円
24. 医学的研究のための多変量解析	メディカル・サイエンス・インターナショナル	本体	4,000 円
25. 分子予防環境医学	本の泉社	本体	9,524 円

V 評価方法

期末試験の成績によって、全学的な基準により評価する。なお、出席が 2/3 に満たない場合は、不合格とする。

講義日程表

衛生学・公衆衛生学

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	R3.3.8	(月)	2	衛生学総論	衛生学	藤吉
2	R3.3.8	(月)	3	環境と健康	衛生学	藤吉
3	R3.4.19	(月)	1	住居環境と健康	衛生学	竹村
4	R3.4.19	(月)	2	地域環境汚染と健康(1)	衛生学	鈴木
5	R3.4.19	(月)	3	地域環境汚染と健康(2)	衛生学	藤吉
6	R3.4.22	(木)	4	地球環境の変化と健康	衛生学	藤吉
7	R3.4.22	(木)	5	作業環境と健康(1)	衛生学	森岡
8	R3.4.26	(月)	1	食品保健	衛生学	吉益
9	R3.4.26	(月)	2	精神保健	衛生学	吉益
10	R3.4.26	(月)	3	作業環境測定と評価	衛生学	河合
11	R3.4.30	(金)	4	産業保健における3管理と総括管理	衛生学	藤吉
12	R3.4.30	(金)	5	作業環境と健康(2)	衛生学	藤吉
13	R3.5.17	(月)	1	母子保健	衛生学	永井
14	R3.5.17	(月)	2	思春期保健	衛生学	永井
15	R3.5.17	(月)	3	作業環境と健康(3)	衛生学	藤吉
16	R3.5.24	(月)	1	労働条件と健康	衛生学	竹村
17	R3.5.24	(月)	2	職域における健康管理	衛生学	藤吉
18	R3.5.24	(月)	3	学校保健の現状と課題	衛生学	鈴木
19	R3.5.25	(火)	4	国民栄養の現状	衛生学	鈴木
20	R3.5.25	(火)	5	実習班分け	衛生学・公衆衛生学	全員
21	R3.5.26	(水)	4	公衆衛生学総論・疫学総論	公衆衛生学	牟礼
22	R3.5.26	(水)	5	疫学研究デザイン	公衆衛生学	牟礼
23	R3.5.31	(月)	1	疫学に必要な統計	公衆衛生学	牟礼
24	R3.5.31	(月)	2	人口統計	公衆衛生学	竹下
25	R3.5.31	(月)	3	疫学指標・記述疫学	公衆衛生学	竹下
26	R3.6.1	(火)	4	和歌山県における保健・医療対策	公衆衛生学	野尻
27	R3.6.1	(火)	5	因果関係論	公衆衛生学	牟礼

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
28	R3.6.7	(月)	1	疾病予防(1)総論	公衆衛生学	牟礼
29	R3.6.7	(月)	2	疾病予防(2)循環器疾患	公衆衛生学	坂田
30	R3.6.7	(月)	3	スクリーニング	公衆衛生学	西尾
31	R3.6.9	(水)	2	社会福祉・社会保障、高齢者保健	公衆衛生学	竹下
32	R3.6.9	(水)	3	保険医療制度	公衆衛生学	竹下
33	R3.6.11	(金)	4	ストレス指標の測定とその関連要因	公衆衛生学	戸田
34	R3.6.11	(金)	5	疾病予防(3)生活習慣	公衆衛生学	牟礼
35	R3.6.14	(月)	1	疾病予防(4)悪性新生物	公衆衛生学	牟礼
36	R3.6.15	(火)	4	疾病予防(5)骨関節疾患	公衆衛生学	吉村
37	R3.6.15	(火)	5	疾病予防(6)個別化予防	公衆衛生学	牟礼
38	R3.6.16	(水)	2	疾病予防(7)感染症	公衆衛生学	牟礼
39	R3.6.16	(水)	3	研究の倫理	公衆衛生学	牟礼
40	R3.6.16	(水)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
41	R3.6.16	(水)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
42	R3.6.18	(金)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
43	R3.6.18	(金)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
44	R3.6.21	(月)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
45	R3.6.21	(月)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
46	R3.6.22	(火)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
47	R3.6.22	(火)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
48	R3.6.25	(金)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
49	R3.6.25	(金)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
50	R3.6.28	(月)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
51	R3.6.28	(月)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
	R3.6.29(火)~7.1(木) 1~5限 全日実習					

実習担当者

【衛生学】

藤吉 朗、東山 綾、竹村 重輝、鈴木 春満、河合 俊夫

【公衆衛生学】

牟礼 佳苗、西尾 信宏、松浦 英夫

共用試験医学系診療参加型臨床実習後 OSCE (Post-CC OSCE)

実施計画

- 1 日時 ◆本 試 験 1日目 令和3年7月29日(木) 9:00~15:41
 2日目 令和3年7月30日(金) 9:00~18:08
- ◆再 試 験 令和3年8月6日(金)
- ◆延期・やり直し試験 令和3年9月2日(木)・9月3日(金)
- ◆追 試 験 令和3年9月2日(木)・9月3日(金)

2 場 所 ◆実施会場 OSCE 研修室 (高度医療人育成センター4F)

3 受験者 ◆医学部6年生 104名 (追・再試験は該当学生のみ)

4 試験時間等

- 体制 2グループ:前半グループ 受験番号 1 ~ 48
 後半グループ 受験番号 49 ~ 104

○学生集合時間・場所

- | | | | | |
|-----|--------|-------|------|-----------------|
| 1日目 | 前半グループ | 8:10 | 大研修室 | (高度医療人育成センター5階) |
| | 後半グループ | 11:40 | 大研修室 | (高度医療人育成センター5階) |
| 2日目 | 前半グループ | 8:10 | 大研修室 | (高度医療人育成センター5階) |
| | 後半グループ | 12:45 | 大研修室 | (高度医療人育成センター5階) |

○試験スケジュール

- | | | |
|-----|----------------------|------------------|
| 1日目 | 前半グループ | 9:00~11:42 |
| | 後半グループ | 12:29~15:41 |
| ※ | 前半グループは11:50を目安に解散予定 | |
| ※ | 後半グループは試験終了後随時解散 | |
| | 各課題試験時間: | 課題1 (大学独自課題) 10分 |
| | | 課題2 (大学独自課題) 10分 |
| 2日目 | 前半グループ | 9:00~12:54 |
| | 後半グループ | 13:32~18:08 |
| ※ | 前半グループは13:00を目安に解散予定 | |
| ※ | 後半グループは試験終了後随時解散 | |

各課題試験時間：課題1（機構指定課題） 16分

課題2（機構指定課題） 16分

○実施担当者：実施責任者：村田 顕也（教育研究開発センター 教授・センター長）

機構派遣監督者：廣井 直樹（東邦大学 教授）

学内評価者：32名（課題1、2の各試験室2名）

（1日目：16名、2日目：16名）

外部評価者：2名（2日目）

模擬患者：（医療面接）和歌山SPの会、認定NPO法人ささえあい医療
人権センターCOML※

（身体診察）本学研修医、教員

連絡・誘導等係員：教育研究開発センター、学生課職員

課題準備等：教育研究開発センター、学生課職員

※ 外部委託

○日程： 7/21、7/27 学内評価者事前研修会（1日目担当評価者）

7/20、7/26 学内評価者事前研修会（2日目担当評価者）

7/20 医学部6年生への説明会

7/26～7/28 必要物品の搬入、受験生控室等 設営

7/29、7/30 Post-CC OSCE 実施

8/6 再試験

9/2、9/3 延期・やり直し試験、追試験

令和3年度 卒業試験（第1回） 解答

循環器系

問題番号	解答
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	

血液系

問題番号	解答
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

特殊感覚系（耳鼻咽喉科）

問題番号	解答
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

歯科口腔系

問題番号	解答
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

呼吸器系・乳腺

問題番号	解答
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	

資料23

皮膚・結合織系

問題番号	解答
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	


一般 投稿 ファイル Class Notebook 課題 成績 出席

「東洋医学」出席確認

こんにちは、[redacted]@wakayamamed.onmicrosoft.com。このフォームを送信すると、所有者に名前とメールアドレスが表示されます。

* 必須

1. 「東洋医学」受講日を記載してください。*

日付を入力してください(yyyy/MM/dd) 

2. 講義中に示された出席コードを入力してください。*

回答を入力してください

3. あなたの学籍番号を入力してください。*

回答を入力してください

4. あなたの氏名を入力してください。*

回答を入力してください

5. 本日の講義に関する質問・感想等を記入してください。

回答を入力してください

自分の回答についての確認メールを受け取る

送信

臨床実習

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [PoliCli](#) / [臨床実習](#) / [臨床実習共通評価表2021年2月15日～](#) / [エントリを追加する](#)

臨床実習共通評価表2021年2月15日～

[一覧表示](#) [個別表示](#) [検索](#) [エントリを追加する](#) [エクスポート](#) [テンプレート](#) [フィールド](#) [プリセット](#)

新しいエントリ

記入者:

学生:

凡例: A.学生としてよくできるレベル B.平均的 C.不適切 X.評価不能

病歴聴取: A
 B
 C
 X

身体診察: A
 B
 C
 X

患者把握: A
 B
 C
 X

症例提示: A
 B
 C
 X

疾患の医学的理解: A
 B
 C
 X

コミュニケーション: A
 B
 C
 X

プロフェッショナリズム: A
 B
 C
 X

アンプロフェッショナルな学生: このままでは将来、患者の診療に関わらせることが出来ないと考えられる学生の具体的な行動や態度の内容（詳細をお願いします）

HTMLフォーマット

※1人の指導医が提出する1枚の評価表で学生が留年することはありませんので、学生の態度・行動で気になる点があり、指摘しても変わらないようであれば、積極的に記入・提出いただくよう、お願いいたします。

備考欄:

HTMLフォーマット

保存して表示する

保存して次を追加する

臨床実習

ダッシュボード / マイコース / PoliCli / 臨床実習 / 臨床実習共通評価表2021年2月15日～

ブロック編集の開始

臨床実習共通評価表2021年2月15日～

一覧表示 個別表示 検索 エントリを追加する エクスポート テンプレート フィールド プリセット

1ページあたりのエントリ数 検索 並び替え 昇順 高度な検索

« 1 ... 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 ... 211 »

1.病歴聴取 2.身体診察 3.患者把握 4.症例提示 5.疾患の医学的理解 6.コミュニケーション 7.プロフェッショナリズム
凡例：A.学生としてよくできるレベル B.平均的 C.不適切 X.評価不能

Gr. 学生 アンプロフェッショナルな
学生の評価 コメント・備考欄 講座名

E BBBB 臨床検査医学講座1

K BBBBCB 真面目ではあるが消極的。発言がほとんど見られなかったのでもう少し積極的になって欲しいです。 脳神経内科1

U BXBABB 良かった点。 ICU がんばてました。 ER 問診はますますできていた。
改善点。 ER 症例が熟練であり、鑑別診断が難しい症例だった。 救急集中治療医学講座1

U BXB BBBB 良かった点。 ICU 大体病態は把握できていた。 ER 説明すれば理解良好
改善点。 ER 病態把握があまり出来ていない 救急集中治療医学講座1

U BXB BBBB 良かった点 ICU 病態の聞き取りが良く出来ていたと思っています
ER レポートが的確にまとまっていた。
救急集中治療医学講座1

改善点。 ER ワーファリン内服中の範囲が理解出来ていなかった。

U CXB BCBB 良かった点。 ER 積極性があり診察にも加わろうとしていた
改善点 ICU レポートチェック時に未完成であった。もう少し勉強が必要です 救急集中治療医学講座1

T BXC BCBB 良かった点。 ER 積極的に実習にとりくんでいた。
改善点。 ER 知識の整理が必理でバイタルサインや所見の意義を考えるようにしよう 救急集中治療医学講座1

T BXB BBBB 良かった点。 ICU 積極的に患者の観察や絞殺が出来ていて熱心に実習に取り組んでいた
改善点。 ER 身体所見をもっとしっかりと 救急集中治療医学講座1

T BXB BBBB 良かった点。 ICU 真面目に取り組んでいてとても良かった
ER 積極的に症例をみており症状や症例で分からないことを質問して良かった。 救急集中治療医学講座1
実際に診療も行った このまま頑張ってください

T BXB BBBB 良かった点。 ICU 十分な考察がされていたと思います
改善点。 ER もう少し積極的に 救急集中治療医学講座1

« 1 ... 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 ... 211 »

令和3年度和歌山県立医科大学医学部新入生オリエンテーション

<場所:医学部三葛教育棟1階 講義室1>

4月7日(水)

9:30 ~ 9:40	医学部長 挨拶	医学部長
9:40 ~ 9:55	大講座長 挨拶	教養・医学教育大講座長
9:55 ~ 10:00	事務連絡	学生課

遠隔講義によるオリエンテーション

10:00 ~ 10:20	大学概要	宮下学長
10:20 ~ 10:35	附属病院概要	附属病院長
10:35 ~ 10:50	学生生活の諸注意	学生部長
10:50 ~ 11:05	遠隔講義について	教育研究開発センター長
11:05 ~ 11:20	健康管理・ワクチン接種について	健康管理センター長
11:20 ~ 11:35	本学の新型コロナ対策	感染制御部長
11:45 ~ 12:15	避難経路確認 諸注意事項	教養・医学教育大講座 担当教授 学生課
12:15 ~ 12:35	交通安全研修	外部講師
12:40 ~ 13:40	・・・ 昼休憩 ・・・	
13:40 ~ 13:50	大学生協からのお知らせ	大学生協
13:50 ~ 14:00	学生教育研究災害傷害賠償保険説明	学生課
14:00 ~	奨学金説明 (※希望者のみ)	学生課
14:00 ~	教科書販売 (※多目的室)	大学生協

4月8日(木)

8:50 ~ 10:00	教務ガイダンス ・選択科目の説明及び届出の案内 ・授業科目の履修について 他	教養・医学教育大講座 担当教授
10:10 ~ 10:40	カリキュラムについて	教育研究開発センター長
10:40 ~ 11:00	学生便覧	学生課
11:00 ~ 11:20	図書館の利用について	図書館(三葛館)
11:20 ~ 12:20	・・・ 昼休憩 ・・・	

※ 4月8日(木)午後から 講義を開始します。

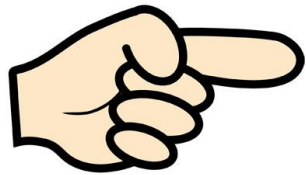
12:20 ~ 16:10	情報処理実習／生物学実習 I (グループB) (グループA)	各教室
---------------	-----------------------------------	-----

人生において大切な時 それはいつでもいまでも

相田みつを

いっぱいあった時間の砂は何もしなくても消える
僕がその気になったらなんでもできる、と舐めてた

経済的、精神的な問題、修学の事など・・・なんでもOKです
困った時には



一般的なこと

- 医学部の 学生課まで
- 保健看護学部の事務室 教学班まで
- 薬学部の事務室 教学班まで

個人的なこと

- 教官（相談員や担任）あるいは学生部長まで

活動内容(5)



○応急処置

学内で、怪我をしたり気分が悪くなった時に応急処置を行います。ただし、健康管理センターでは治療出来ませんので、必要に応じて病院等を紹介します。

一時的な休養のためのベッドを用意していますので、体調の優れない時はご利用ください。



○健康相談、メンタルヘルス相談

学校医、保健師、臨床心理士が専門性を活かしながら、皆さんの心身の健康についての相談に対応しています。

臨床心理士によるメンタルヘルス相談については、事前予約制です(月曜午後・水曜午前のみ)。電話やメールでご予約をお願いします(どうしても日程が合わない時、急を要する場合はその旨ご連絡ください)。

健康管理センターの利用について

健康管理センターは、皆さんの健康相談の窓口になります。
相談内容に関する秘密は固く守りますので、安心してお越し下さい。

◎利用時間

月曜～金曜 9:00～12:00、13:00～17:00
(土曜・日曜日、祝日、年末年始は利用できません。)

◎連絡先

直通：073-441-0798(内線:5730)
メール:kenkou-c@wakayama-med.co.jp

[受験生の方へ](#)[在学生の方へ](#)[卒業生の方へ](#)[企業・研究機関の方へ](#)[地域・一般の方へ](#)[大学案内](#)[学部・大学院等](#)[入試・入学案内](#)[図書館・関連施設](#)[研究・産官学連携](#)[附属病院](#)[ホーム](#) > [在学生の方へ](#) > [医学部生の相談ホットラインについて](#)

医学部生の相談ホットラインについて

学生生活を送っていく中で、勉学に関すること、健康に関すること、経済的なこと、人間関係など様々な悩みがあります。医学部では、担任制を設けていますが、直接担任と向かい合って相談しづらい内容であることも少なくありません。そういう場合は、この医学部生の相談ホットラインをご活用ください。

なお、相談内容により、相談者の了解を得たうえで、健康管理センター(体や心に関する悩み)や危機対策室(ハラスメントに関する悩み)などの学内の相談先を紹介させて頂く場合があります。

- 相談内容や個人情報等の秘密は守ります。
- 匿名でも相談できます。(ただし、匿名の場合、回答ができなくなりますので、必ず返信先メールアドレスを入力してください。)

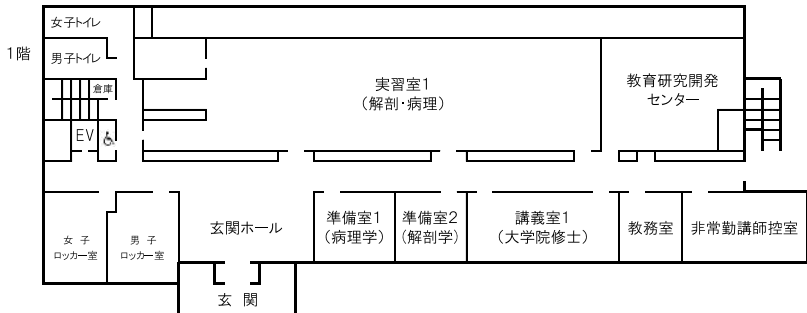
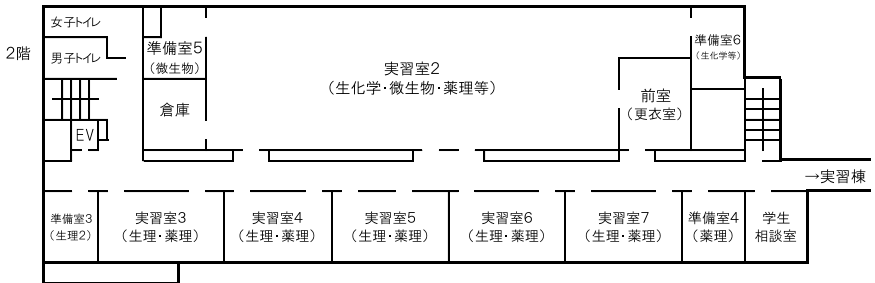
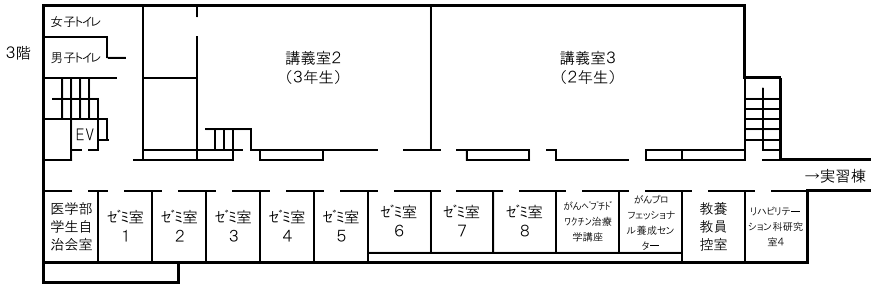
[医学部生の相談ホットライン](#)[利用する場合は、クリックしてください](#)[サイトマップ](#) [サイトポリシー](#) [関連リンク](#) [学内向け案内](#)

担任制について

担任制の概要

- 1 対象学年は1年生・2年生とする。
- 2 1年生は教養、2年生は基礎系の教員を担当とする。
- 3 教員一人当たりの学生数を原則として10名未満とする。
- 4 留年生は教務学生委員会委員を担当とする。
- 5 担任の役割は以下のとおりとする。
 - (1) 修学面、生活面（経済的なものを含む）、健康面の相談窓口となる。
 - (2) 学生の修学、生活、健康上の状況を把握し、学生部長に報告する。
 - (3) 欠席が多い学生と面談を行う。
 - (4) 成績不振者と面談を行う。

基礎教育棟



令和3年度第1回

教育研究開発センターカリキュラム専門部会(医学部委員会)議事録〈抜粋〉

- 日 時：令和3年11月5日(金) 17:00～18:00
- 場 所：図書館棟3階 研修室
- 出席者：村田委員、廣田委員、平井委員、森川委員、改正委員、山田委員、伊東委員、神人委員、中尾委員、井篁委員、廣西委員、森委員
学生委員：三宅 涼介(4年生)
事務局：野見課長、雑賀教務班長、坂井主査、漁野主査、橘副主査、朝比奈主事、小川
- 欠席者：北野委員、上野委員

〈〈議 題〉〉

1. 令和4年度カリキュラムについて

(村田委員)

(配布資料を基に説明。)

村田先生：～中略～基礎配属が3年生で大きな話になってまして、去年度から基礎配属の開始時期を5月にずらしている。なるべく1日基礎配属にする形にしまして、5/30とか月曜日はほとんど終日基礎配にしておりますし、火曜日は法医学の授業があります。法医学はどうしてもスライドでやりにくいということだったので、対面でこの授業は考えております。とりあえず基礎配属は全日来てもらうということにしております。3年生の先生方に意見を投げさせていただいたところ、2年生の6/27～7/4、生理の実習が入ってるんです。この時期はちょうど基礎配属とかぶってるので、なかなか基礎配ができない。後期の講義を前に持ってきて、基礎配属を下にずらすことになるかもしれない。このコンセプトは夏休みになるべく学生さんに海外に行っていただきたいというのがありまして、ご存じだと思いますが、うちに入学される学生さんの多くは海外で勉強したいというのをモチベーションにしていますので、それを維持するため、これくらいのパターンにしておけば、海外にいきやすいのではないかと思います。ですから、他を動かしてしまうと夏休みに行けなくなるとかありますので、議論する必要があるかと思います。改正先生いかがでしょうか？

改正先生：自由に意見言わせていただくと、基礎配は他と絡まないのが一番理想的。～中略～あとは夏休みとかぶるのは非常に良いので、7月の初め、夏休みから基礎配が始まる。将来に向けて議論があるとありがたいです。海外も来年はまあ行けるかなと。

村田先生：この枠の中ではとてもできませんので。減らすなり全学年のコマをどうするかというのをまた、全部あげて基礎配をずらすしかない、大きな話になりますので、来年度ワーキングで議論していきたいと思います。学生さんはいかがですか？

三宅委員：確かに基礎配の期間に他が入らない方が集中できてありがたいと思います。

村田先生：では3年生はこれで。

医学部教員男女別人数(平成27年度～令和3年度)

平成27年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		313	44	42	89	138
	男	269	43	38	78	110
	女	44	1	4	11	28

女性の比率 14.1%

平成28年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		336	47	47	86	156
	男	285	46	39	75	125
	女	51	1	8	11	31

女性の比率 15.2%

平成29年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		335	48	48	92	147
	男	280	46	40	79	115
	女	55	2	8	13	32

女性の比率 16.4%

平成30年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		337	46	51	88	152
	男	286	44	43	75	124
	女	51	2	8	13	28

女性の比率 15.1%

平成31年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		352	50	57	89	156
	男	295	48	47	78	122
	女	57	2	10	11	34

女性の比率 16.2%

令和2年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		347	50	55	89	153
	男	286	47	45	78	116
	女	61	3	10	11	37

女性の比率 17.6%

令和3年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		346	46	55	95	150
	男	272	43	44	78	107
	女	74	3	11	17	43

女性の比率 21.4%

和歌山県立医科大学教員選考規程

制 定 昭和 47 年 1 月 25 日 和医大規程第 1 号

最終改正 平成 27 年 6 月 5 日 和医大規程第 23 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）における教授、准教授、専任の講師、及び助教（以下「教員」という。）の選考について必要な事項を定めるものとする。

(選考)

第 2 条 教員の選考は、次の各号のいずれかに該当する場合に行う。

- (1) 教員が定年又は任期満了により退職し、後任を採用する必要があるとき。
- (2) 教員からの退職の申出を理事長が受理し、後任を採用する必要があるとき。
- (3) 教員の増員又は上位職への振替えの必要があるとき。
- (4) その他教員が欠員となり後任を採用する必要があるとき。

(教授の資格)

第 3 条 教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績を有する者
- (2) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められる者
- (3) 学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、当該専門職学位の専攻分野に関する実務上の業績を有する者
- (4) 大学において教授の経歴のある者
- (5) 大学において准教授の経歴があり、教育研究上の業績があると認められる者
- (6) 芸術、体育等について、特殊の技能に秀で、教育の経歴がある者
- (7) 専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有すると認められる者

(准教授の資格)

第 4 条 准教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 前条に規定する教授となることができる者
- (2) 大学において准教授又は専任の講師の経歴がある者
- (3) 大学において 3 年以上助教又はこれに準ずる職員としての経歴がある者
- (4) 修士の学位又は学位規則第 5 条の 2 に規定する専門職学位（外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。）を有する者
- (5) 研究所、試験所、調査所等に 5 年以上在職し、研究上の業績があると認められる者
- (6) 専攻分野について、優れた知識及び経験を有すると認められる者

(専任の講師の資格)

第 5 条 専任の講師となることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 第 3 条又は前条に規定する教授又は准教授となることのできる者
- (2) その他特殊な専攻分野について、教育研究上の能力を有すると認められる者

(助教の資格)

第6条 助教となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 第3条各号又は第4条各号のいずれかに該当する者
- (2) 修業年限を6年又は4年とする大学を卒業した者で、専攻分野について、十分な知識及び経験を有すると認められる者

(選考の方法)

第7条 教員の選考方法については、教育研究審議会において別に定める。

(規程の改正)

第8条 この規程の改正は、教育研究審議会の審議を経て学長がこれを行う。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、昭和47年1月25日から施行する。
- 2 和歌山県立医科大学教員選考基準に関する規程（昭和24年和歌山県立医科大学規程第27号）は、廃止する。

附 則（平成16年4月1日和医大規程第78号）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日和医大規程第83号）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年6月23日和医大規程第29号）

- 1 この規程は、平成21年6月23日から施行する。
- 2 保健看護学部については、当分の間、第6条各号に定めるもののほか、修業年限を3年とする大学等を卒業した者で、専攻分野について十分な知識と経験を有すると認められる者を助教の資格とすることができる。

附 則

この規程は平成27年6月5日から施行し、改正後の和歌山県立医科大学教員選考規程の規定は、同年4月1日から適用する。

妊娠・出産・育児期に利用できる制度

元よくキャリアを継続するために、少し先を見据えて計画してみてください

1. 産休に入るまで

●妊娠中の通勤緩和（正規職員：特別休暇）

妊娠中の女子職員が請求した場合、通勤に利用する交通機関の混雑などで母体や胎児の健康維持に影響があると認められるときに利用できます。正規の勤務時間の始めまたは終わりに、1日を通じて1時間を超えない範囲内で必要と認められる期間利用可能です。

●つわり休暇（正規職員：特別休暇）

妊娠中の女子職員がつわりのため、勤務することが著しく困難であると認められる場合に、7日を超えない範囲で取得できます

●妊娠・産後の保健指導等（正規職員：特別休暇）

妊娠中の女子職員が母子健康手帳の交付を受けてから産前休暇を受けるまでの間、または出産後の女子職員が出産後1年以内に医師、助産師等の保健指導及び健康診査を受ける場合に利用可能です

2. 産休入りから出産まで

●産前産後休暇（正規職員：特別休暇、準・臨時職員：無給休暇）

出産予定日以前8週間（準職員・臨時職員は6週間）（多胎妊娠の場合は14週間）の日から産後8週間を経過するまでの期間取得できます

●妊娠・産後の保健指導等（正規職員：特別休暇）

妊娠中の女子職員が母子健康手帳の交付を受けてから産前休暇を受けるまでの間、または出産後の女子職員が出産後1年以内に医師、助産師等の保健指導及び健康診査を受ける場合に利用可能です

●配偶者の出産（正規職員：特別休暇）

職員が妻の出産に伴い勤務しないことが相当の場合、出産のための入院などから出産後2週間以内で、3日の範囲内で利用できます

●出産手当金（準職員・臨時職員のみ）

健康保険の被保険者が出産のため会社を休み、その間に給与の支払いを受けなかった場合は、出産の日（実際の出産が予定日後のときは出産予定日）以前42日（多胎妊娠の場合98日）から出産の翌日以後56日目までの範囲内で、会社を休んだ期間を対象として出産手当金が支給されます

3. 出産から復帰まで

●育児休業（全職員：無給）

子が3歳（準職員・臨時職員は1歳）に達する日の前日まで取得できます
準職員・臨時職員は子が1歳に達する時点で、保育所等に入所できないなどの特別な事情がある場合に限り、6か月ずつ最長2歳まで延長できます

●男性職員の育児参加（正規職員：特別休暇）

職員の妻が出産し、出産予定日の8週間（多胎妊娠の場合は14週間）前の日から出産後8週を経過する日までの期間で、当該出産に係る子、または小学校始期に達するまでの子を養育する場合に5日の範囲内の期間取得できます

●育児休業給付金 産休に入って約2か月後に総務課給与班から連絡をします（雇用保険加入者）

育児休業を取得した場合に一定の要件を満たすと、雇用保険から休業開始時の賃金月額67%の額（6か月後からは50%）の給付を受けることができます
支給期間は子の1歳の誕生日の前々日までです。ただし、1歳の誕生日の前日後、保育所における子の保育の実施が困難な場合等の特別な理由がある場合、1歳の誕生日の前々日から6か月後まで延長

※このほかにも、正規職員の場合は組合や互助会からの出産費用や祝金などの支給があります。詳細は学内ページに掲載していますので、ご確認ください

4. 育児と仕事の両立を支援する制度

●育児短時間勤務（正規職員）

小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合に利用できます。

いくつかの勤務パターンから選択できます

※詳細は総務課人事班へお問合せください

●育児時間休暇（正規職員：特別休暇、準職員：無給休暇）

子が3歳に達する日の前日まで1日2回各60分又は1日1回120分請求できます

●育児のための早出遅出勤（正規職員）

小学校始期に達するまでの子を養育する場合に利用できます。正規の勤務時間内で、いずれかの勤務パターンから選択できます

●育児部分休業（正規職員・準職員・臨時：休業時間は給与減額）

小学校就学の始期（準・臨時職員は3歳）に達するまでの子を養育する場合、勤務時間の始めまたは終わりに1日2時間、30分単位で取得できます（育児時間休暇と併用の場合併せて2時間まで取得可能）

●時間外勤務の制限・時間外勤務の免除・深夜勤務の制限

（勤務時間規程第8条の3、準職員勤務時間規程第4条、同5条、同6条、臨時職員勤務時間規程第4条、同5条、同6条に該当する方）

小学校始期に達するまでの子を養育する職員が請求した場合、1か月24時間、1年150時間を超える時間外勤務が制限、または一切の時間外勤務が免除されます。また、深夜（午後10時から翌日の午前5時まで）の勤務が制限されます

●子の看護休暇（正規職員：特別休暇、準職員・臨時：無給休暇）

子が15歳に達する日以後最初の3月31日（準・臨時職員は小学校就学始期）まで1暦年に5日の範囲内で取得できます（対象となる子が2人以上の場合は10日）

和歌山県立医科大学内のお問合せ先

キャリア継続に関するご相談
保育園（クレヨン保育園ふくむ）等に関するご相談
本パンフレットの内容に関する質問など

ワークライフバランス支援センター

電話：073-441-0876 ✉ worklife@wakayama-med.ac.jp

妊娠期～復帰後に利用できる休暇等の
制度に関するご質問など

総務課 人事班 電話：073-441-0711

育児休業給付金に関するご質問

総務課 給与班 電話：073-441-0712

幼稚園・保育園などに関する行政の窓口

和歌山市 保育こども園課

電話：073-435-1064 ✉ hoiku@city.wakayama.lg.jp

海南市 暮らし部 子育て推進課 保育係

電話：073-483-8582 ✉ kosodate@city.kainan.lg.jp

有田市 市民福祉部 福祉課

電話：0737-83-1111

※その他の地域に関しましては、各ホームページをご確認ください

あんしんGUIDE 資料35

育児しながら、キャリアを 継続していくために 妊娠・出産・育児期に利用できる制度



元よくキャリアを
継続するために、
少し先を見据えて
計画してみてください

公立大学法人

和歌山県立医科大学

ワークライフバランス支援センター

妊娠判明

母子手帳
を取得

産前休暇
前に

産前休暇直前
勤務最終日

出産

産休・育休中

復帰直前～復帰後

1. 産休に入るまでに利用できる制度

- 妊娠中の通勤緩和
(正規職員：特別休暇)
- つわり休暇
(正規職員：特別休暇)
- 妊娠・産後の保健指導等
(正規職員：特別休暇)

2. 産休入りから出産までに利用できる制度

- 産前産後休暇
(正規職員：特別休暇)
(準・臨時職員：無給休暇)
- 妊娠・産後の保健指導等
(正規職員：特別休暇)
- 配偶者の出産
(正規職員：特別休暇)
- 出産手当金
(準職員・臨時職員のみ)

3. 出産から復帰までに利用できる制度

- 育児休業
(全職員：無給)
 - 男性職員の育児参加
(正規職員：特別休暇)
 - 育児休業給付金
(雇用保険加入者)
- 育児休業給付金については、育休に入って約2か月後に総務課給与班から連絡をします

4. 育児と仕事の両立を支援する制度

- 育児短時間勤務 (正規職員)
- 育児時間休暇 (正規職員：特別休暇、準職員：無給休暇)
- 育児のための早出遅出勤務 (正規職員)
- 育児部分休業
(正規職員・準職員・臨時：休業時間は給与減額)
- 時間外勤務の制限・時間外勤務の免除・深夜勤務の制限
(勤務時間規程第8条の3、準職員勤務時間規程第4条、同5条、同6条、臨時職員勤務時間規程第4条、同5条、同6条に該当する方)
- 子の看護休暇
(正規職員：特別休暇、準職員・臨時：無給休暇)

分娩予定日が記載されている箇所をコピーしてください

妊娠の報告
母子手帳のコピーを提出
産前休暇取得事務手続き
産後の事務手続きの説明を受ける

備品返却手続き
※診療科・部門に要返却のものがあれば

出産報告

育児休業に入る1か月前までに育児休業申出書の提出

復帰に関する面談

復帰に際して必要な申請書類を提出する

復帰

特別休暇願(様式1-2)を総務課人事班へ提出(看護部職員は看護部管理室へ)

- <看護部は…>
- ロッカー鍵(最終更衣後、ロッカー清掃して返却)
 - スマートフォン
 - 徽章(箱に入れた状態で一旦返却)
 - マタニティ白衣

<看護部は…>
看護部管理室に電話で報告する

出産予定日より分娩日が遅くなった場合は、特別休暇願を追加提出する必要があります

※役所に届出済みの母子手帳のコピー(「出生届出済証明」)の添付が必要です

<看護部は…>
看護部職員は2～3か月に1回程度の面談で復帰日程を確定する

育児に関する短時間勤務制度や育児時間休暇などを利用する場合には、各種申請書類を入手し各担当部署に提出

報告の際に本人・所属双方が確認すること

- 出産後も働き続ける?
- 育児休業はどのくらい取得する?

復帰後の託児先の検討について

- どこに託児したい?
- 何月から入園を希望する?

【クレヨン保育園利用希望者】
入園時期の連絡・手続きの問い合わせ

【クレヨン保育園利用希望者】
「和歌山県立医科大学附属病院託児施設入所申込書」を提出、クレヨン保育園にて面談

【その他の託児施設】
復帰時期に合わせて施設見学・面談・入園申請などしておく

【保育園を利用する場合】
復帰前ならし保育

これらのことは、すぐに決められないこともあるかもしれませんが、妊娠中に今後のキャリアプランを大まかにでも決めておくと、復帰後のスタートがスムーズです

復帰後の子どもの託児先は少しずつ考えはじめておくと、いざ復帰時期を決めたときにスムーズです。保育園等の応募期間の確認をこの時期に一度しておくこともオススメです

具体的に復帰時期を考えられているのであれば、早めに保育園や託児所の検討や見学しておくことをオススメします

利用できる制度

あなたまたはあなたの家族

診療科 所属部門

支援センター ワークライフ

事務

報告を受ける
本人の意思確認

母子手帳のコピーを受領

特別休暇願を受領

<看護部職員のみ>
諸手続きについて説明

備品の受領

出産報告をうける

育児休業申出書の受領

面談後に復帰日程を設定

妊娠・出産から復帰に関する情報提供

【クレヨン保育園利用希望者】
クレヨン保育園に関する入園手続き、入園までの流れを説明

復帰に向け状況や不安なことがないか確認する

【クレヨン保育園利用希望者のみ】
「入所決定通知書」の送付

母子手帳のコピーを受領

特別休暇願を受領

説明事務手続き

出産報告を確認する

育児休業申出書の受領

短時間勤務関連書類の受領

総務課人事班

総務課給与班

総務課人事班

総務課人事班



クレヨン保育園

こあんない

資料36



お問合せ先

クレヨン保育園に関するご相談
キャリア継続に関するご相談

ワークライフバランス支援センター

電話：073-441-0876 ① worklife@wakayama-med.ac.jp

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

見学申込み

和歌山県立医科大学附属病院託児施設

クレヨン保育園

電話：073-447-2367

〒641-0012 和歌山市紀三井寺768-9

もくじ

1	園長あいさつ
2	定員 対象児童 保育内容 クラス編成
3	年中行事（予定）
4	給食 健康診断
5	入園受付 保育時間 休園日
6	保育料
7	勤務表・喫食予定表 退園 病児保育 園での投薬
8	入園までの流れ 連絡先
9	入園児童以外が利用できるサービスについて

クレヨン保育園

クレヨンの色が1本1本違うように
子ども達も一人ひとり個性を生かし伸ばしていく保育を！



ご挨拶

2001年4月に当初園児12名でスタートいたしました。

その後、年々入園される園児が増加し、
定員人数も2018年度には80名から100名に増えました。

クレヨンの色が1本1本違うように、
子ども達も一人ひとり個性を生かし伸ばしていく保育を！
という願いを込めて『クレヨン保育園』と名付けられました。

クレヨン保育園では「明るく 元気に たくましく」というモットーを念頭におき、子ども一人ひとりの気持ちを大切に、温かく見守る中で心身ともにすこやかな育成を図り、豊かな人間形成の基礎を培うことを方針としております。また、保護者の方に安心してお勤めに専念して頂けるように心がけております。

これからも、ご意見やご要望に耳を傾け、保護者の方も、子ども達もともに利用しやすい施設にしていくことを目指します。入園を希望される方は、クレヨン保育園の見学にお越しください。お待ちしております。

和歌山県立医科大学附属病院託児施設 クレヨン保育園

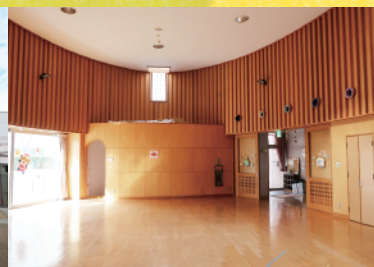
園長 本多 みゆき



外観



園庭



ホール

保育について

さまざまな経験を通して、心身ともにすこやかな育成を図り、豊かな人間形成の基礎を培うことを方針としています

定員 100名

児童福祉施設設備運営基準第33条第2項に規定する数に準じて、安全な保育が提供できるよう、園児数に合わせた保育者の配置をしています。

対象児童

- 本学附属病院に勤務する助産師、看護師、教員（医師）、学内助教（医師）、研修医、医療技術職員の子ども
- 対象年齢 0歳から小学校就学まで

保育内容

異年齢児の混合保育となります。

園児数の都合により、違う年齢のお子さんと保育する場合があります。保育士資格を持つ職員が保育にあたりますが、食事介助など保育支援員が補助する場合があります。

クラス編成

在園児数により変わります。

(例：2019年度の編成)

きいろ組	あか組	もも組	みどり組	あお組
0歳児	1歳児	2歳児(低月齢児)	2歳児(高月齢児) 3歳児(低月齢児)	3歳(高月齢児) ～5歳児



年中行事(予定)

※詳細の行事予定は、年度毎にお渡ししています。

月	行 事
4月	入園式・親子遠足
5月	子どもの日・個人懇談会(あお組)
6月	虫歯予防デー・時の記念日・保育参加・運動会 人形劇観覧(年長児)・びわ狩り(年長児のみさつきこども園)
7月	七夕・プール開き・夕涼み会(年長児)
8月	プール参観(あお組)・夏祭り
9月	敬老会・お月見
10月	遠足・視力検査
11月	文化の日・七五三・勤労感謝の日・お遊戯会
12月	クリスマス会・大根掘り(さつきこども園)
1月	お正月・保育参加
2月	節分・個人懇談会(あお組)・制作展
3月	ひな祭り・大掃除・お別れ会・卒園式

※お誕生日会、避難訓練は毎月1回行います。

※感染症などの状況によっては、行事が中止となる場合もあります。

※保護者参加の行事・大掃除にはできるだけご出席ください。

給食

離乳食からの統一された献立の完全給食です。

園内の施設で調理しています。

献立予定表は毎月お配りします。

土曜・日曜・祝日の保育は、給食はありませんので、家庭からお弁当持参となります。

食物アレルギーへの対応は、園にご相談ください。

夕食にお弁当を購入することができます（申し込みは当日朝の当園時～16時まで）お弁当の購入は実費負担となります。

● 利用者負担額

食事をしていない0歳児	無料
離乳食開始後～5歳児	1食につき 380円
※上限金額を5,000円（離乳食は3,500円）とし、上限を超えない場合は実食分の負担となります	

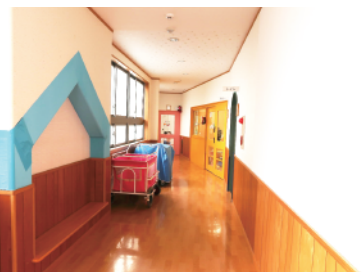


健康診断

内科検診（年2回）、歯科検診（年2回）、

視力検査（年1回、年少・年中・年長のみ）があります。

身体測定は月1回実施します。



新館



玄関



病児保育室



働き方の多様性に合わせた保育時間を設定しています

入園受付

年度ごとに受付期間を設けております。施設の利用開始は、利用者の採用や職場復帰に合わせたタイミングとなりますが、入園前に慣らし保育期間が必要です。受付期間は秋頃を予定しています。詳細はワークバランス支援センターのホームページをご確認ください。

受付に必要な書類については、【入園に際して必要な書類】の項をご確認ください。

保育時間

種別	時間
通常保育	7時15分～18時15分 保護者がお休みの場合 (産育休も含む)は 9時00分～16時00分
延長保育	18時15分～20時00分
長日勤保育（お迎え時間は21時30分までです）	8時00分～21時00分
夜間保育（10～12回/月実施しています※）	19時30分～7時15分
休日保育（土曜・日曜・祝日）	7時15分～20時00分

※夜間保育の実施予定日は、前々月の末日までに保育園が決定し、利用者にお知らせします。実施日以外の利用はできません。

- 延長保育、長日勤保育、夜間保育、休日保育は各保育時間帯に勤務がある場合のみ利用可能です
ただし、0歳児の夜間保育は卒乳後となります
- 保育園は、利用者の勤務時間中に利用していただくものですが、週休日でも原則として、下記時間帯に限り利用することができます
平日のみ：9時00分～16時00分
- 夜間帯の勤務（看護師の場合：準夜・深夜勤務、医師の場合：当直勤務）に保育園を利用する場合は、翌日の最長16時00分まで（翌日も勤務の場合は18時15分まで）利用することができます
※ただし、勤務あけが土曜、日曜、祝日になる場合は、最長11時00分までとなります。

休園日

月 2 回	毎月の園日より、喫食予定表でご案内します
年末年始	12月31日～1月3日
その他	年のうち2日程度

保育料

保育料は、前年の課税額（住民税基準）および園児の年齢により決定します。

※ただし、夜間保育料、給食費、その他雑費等は別途徴収します。

※2019年10月からスタートした保育料無償化については、

以下の園児が対象となります。

1. 3～5歳児（4月時点での年齢で判断します）
2. 3歳未満で、市民税非課税世帯の園児

市町村民税所得割額	3歳児未満	3歳以上児
0円～55,000円未満	18,000円	企業主導型保育事業の助成および 大学運営経費により 無償となります ただし 給食費や消耗品費は 別途必要です
55,000円以上～60,000円未満	21,000円	
60,000円以上～73,000円未満	24,900円	
73,000円以上～90,000円未満	30,000円	
90,000円以上～120,000円未満	35,600円	
120,000円以上～200,000円未満	40,900円	
200,000円以上～350,000円未満	44,500円	
350,000円以上～650,000円未満	54,900円	
650,000円以上～850,000円未満	64,000円	
850,000円以上	74,000円	

- 長日勤保育および夜間保育料は以下の通りです

長日勤保育	1人1回につき400円
夜間保育	1人1回につき600円

行政による保育料助成について

和歌山県内の一部の市町村では、保育料助成が受けられます。

詳細は、和歌山県ホームページ「紀州っ子いっぱいサポート事業」をご確認ください。

http://www.mirai-kirakira.jp/index.php?/child_care/purpose/leave/page05

勤務表・喫食予定表

毎月20日までに保育園に提出してください。

退園

当保育園は、利用者の勤務時間中にお子さまをお預かりする託児施設です。以下の場合には、退園していただくこととなりますので、ご了承ください。

- 利用者が、お預かりしているお子さまのために育児休業を取得したとき
- お預かりしているお子さま以外のお子さまのために育児休業を取得したときは、定員に余裕がある場合に限りそのままご利用いただけます



子どもが病気になったときは…

病児保育

病児保育室を計4室設けております。

一時保育、慣らし保育中は利用できません。

医師により、病児保育室利用許可がある園児が対象です。

病児保育室での看護は、専任の看護師が対応します。

- 利用時間：8時00分～18時00分（土曜・日曜・祝日は休み）
- 利用者負担額：1回2,000円

< 利用の流れ >

手順1	病児保育室の予約	園に電話もしくは直接お申し出ください
手順2	かかりつけ医もしくは救急外来を受診し、診察医連絡票への記載を依頼する	診察医連絡票の書式は2種類あります（かかりつけ用・当院救急外来用） 救外を受診する場合は、8時～8時30分の間に受付してください
手順3	保護者が病児保育利用申請書を記入し、病児保育室へ	食欲がなければ、食べられそうなものや、好みの飲み物、必要であれば処方薬などを持参してください（与薬依頼書が別途必要です） 出入は園庭側の扉からとなります

園での投薬

薬を服用している場合は医師の処方薬に限り投薬できます。

（※市販薬は投薬できません）

必ず、1回分を小分けして持参してください。



入園をご希望の場合の手続きについて

入園までの流れ

復帰する時期を考え始めたら…		
託児施設運営委員会の定める期間内に申込 ※期間は毎年変わります ホームページをご確認ください ※ 期間外の申込についてはお受けできない可能性があります 入園に関しては、ワークライフバランス支援センターにご相談ください	保育園の見学(希望者のみ) 入園申込書の提出	見学日程の調整は、園に直接ご連絡ください <提出先> 全職種： ワークライフバランス支援センター
入園の3～2か月前まで	面接	事前にワークライフバランス支援センターから連絡があり、クレヨン保育園で面接を行います
入園の2か月前頃	入園決定通知	ワークライフバランス支援センターから入園決定通知書が届きます
入園の1か月前	慣らし保育	特別な事情がない限り、入園前に短時間の保育を行います
入 園		

・入園は託児施設運営委員会で審査のうえ決定いたします。予めご了承ください。

見学希望は
クレヨン保育園に
ご連絡ください

和歌山県立医科大学附属病院託児施設
— クレヨン保育園 —

電話：073-447-2367
〒641-0012
和歌山市紀三井寺768-9

入園申込に関する
お問い合わせはこちら
ワークライフバランス支援センター

電話：073-441-0876
〒641-8509
和歌山市紀三井寺811-1
worklife@wakayama-med.ac.jp



入園児童以外が利用できるサービス

一時保育

対象：入園児童以外の児童（ただし、受け入れに余裕がある場合にのみ実施します）

※利用資格のある就学前の未就園児を持つ職員が、研修などのため週休日に出勤する必要がある場合に利用できます。

- 保育時間：8時30分～19時30分
私的な用事での利用は不可です。
利用日の2週間前までにワークライフバランス支援センターにお申込みください
- 保育料（給食代 ※上限なし、実食分を徴収します）

年齢	1時間当たりの料金	給食代(1食あたり)
0歳児	600円	380円
1～2歳児	500円	
3～5歳児	400円	

学童お泊り保育

対象：附属病院に勤務する、看護部職員ならびに教員（医師）、学内助教（医師）、研修医、医療技術職員（正規職員のみ）が養育する小学校1年生から6年生までの児童。

なおかつ、和歌山市および近隣市町に在住の方に限ります。

※インフルエンザなど感染症に罹患中はお預かりできません。学校に登校できている状況でお預かり可能です。

- 定員：3名
- 保育時間：19時30分～翌日7時15分（翌日が日曜日の場合は11時00分まで）
- 利用料金：3,000円/回 [お泊り用レンタル寝具あり（有料500円）]

食 事：①夕食…持参または保育園でお弁当を注文（有料）

②朝食…持参または保育園で準備（有料100円）

送 迎：保育園での送迎は行いません。

保護者や親族による送迎、送迎タクシーの利用、ファミリーサポートセンターの利用等保護者において児童にあった送迎を手配してください。

民間など送迎サービスの情報は、

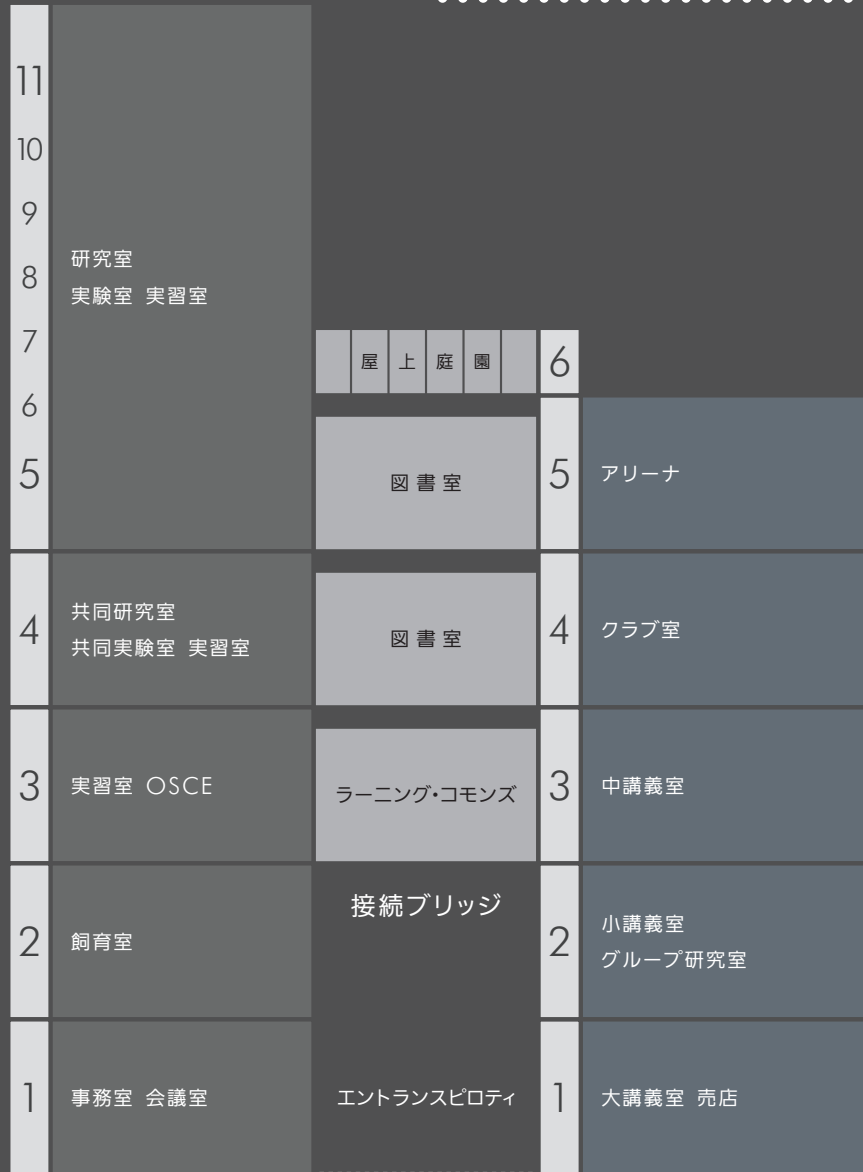
学内ホームページ（トップメニュー → 「ワークライフバランス」）に掲載しています。

※学童お泊り保育のご利用には事前登録が必要です。

「学童保育利用者登録書」（用紙の請求はワークライフバランス支援センター：5706までご連絡ください）に必要事項を記入し、利用開始予定月の前月1日（休日の場合は翌平日）までに、ワークライフバランス支援センターまでご提出ください。

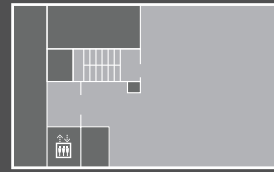
※初めての利用で児童が不安にならないよう、「学童保育利用者登録書」を提出後に面談日程調整をおこない、初回の利用までにクレヨン保育園担当者が面談します。

和歌山県立医科大学



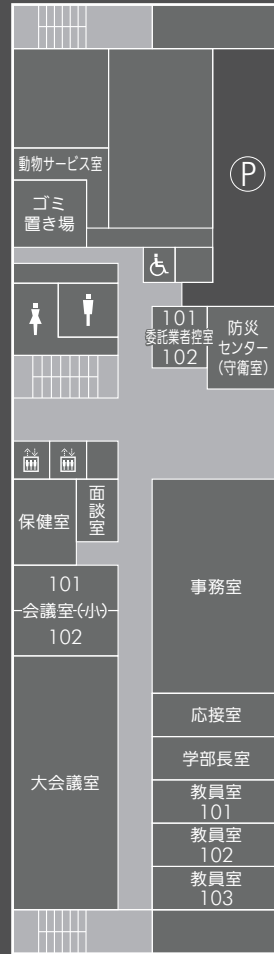
南棟

北棟



B1F

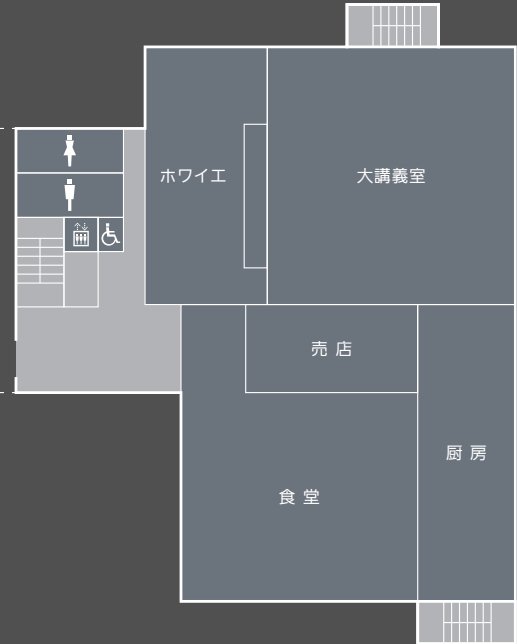
1F



南棟

- 事務室
- 会議室

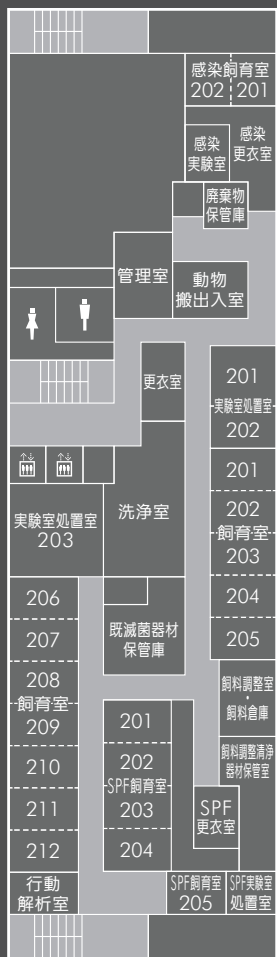
エントランスピロティ



北棟

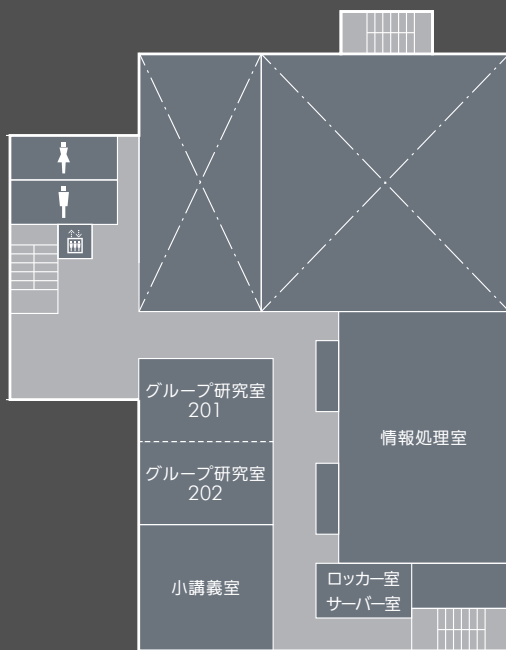
- 大講義室
- 売店

2F



南棟

■ 飼育室



北棟

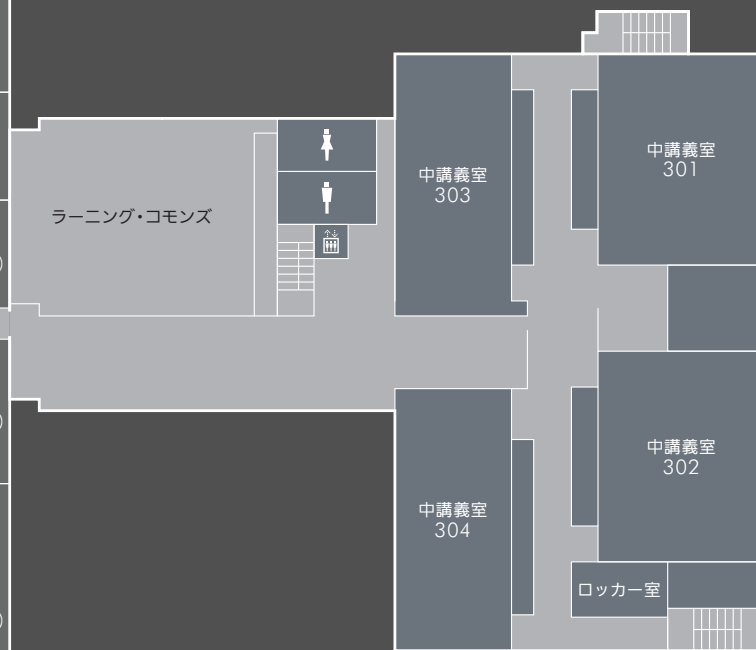
- 小講義室
- グループ研究室

3F



南棟

■ 実習室
■ OSCE



北棟

- 中講義室

主に講義の授業で使っている部屋の収容目安

北棟 1階 大講義室 約 360 席

北棟 2階 小講義室 約 60 席

北棟 3階 中講義室 301 約 180 席

中講義室 302 約 180 席

中講義室 303 約 130 席

中講義室 304 約 130 席

災害時の避難経路について

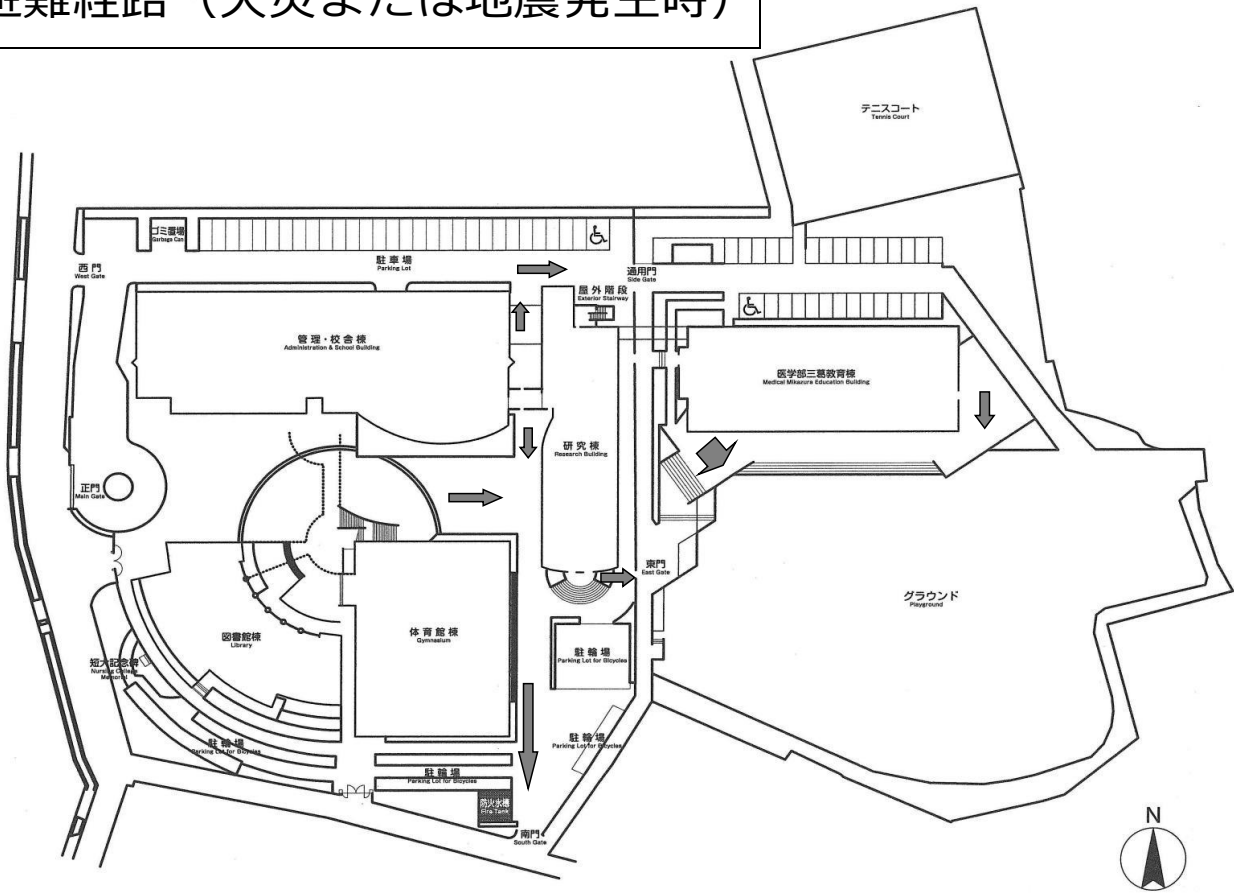
- 災害のパターン 火災（本学、近隣）・地震・津波・風水害
 <本学部体育館：災害時（津波を除く）の避難場所>
 - 火災発見時には、
 火災報知器（消火栓と一緒に）を押して、学内に知らせてください。
 火災が小さいうちは、近くの消火器などを使って初期消火を！
 - 避難時には、協力して、安全に避難すること。
 - 避難経路は、次ページのとおり。
 ※特に南門を出たところの通路は車の通行があるので、学生同士で安全確認を行うこと。
 - 避難場所は、火災、地震の場合には、【グラウンド】を基本とする。
 - 火災の発生状況によるが、
 荷物は持たない
 エレベーターは使用禁止
 煙の中では姿勢を低く
 火災現場に戻らない
 - 防火シャッターは、煙感知器が反応すると降りることとなっている。
 シャッターは非常に重くなっています。シャッター事故に注意！
 シャッターが降りかけているときには、あわてずに横の非常口から逃げる
 - 避難したら、教職員による点呼に応えること。
 - けが等の方は、申し出ること。
 - 避難場所においては、教職員の指示に従うこと。
- ※勝手に避難場所から離れないこと。

◇注意◇



左の写真の様なボタンは【通報器】です。
 ※火災以外の緊急通報に使用します。

避難経路（火災または地震発生時）



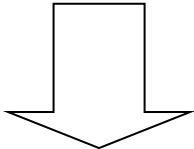
避難経路（津波発生時）



避難方法（地震、津波）フローチャート

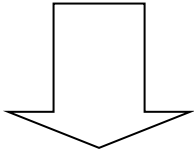
①地震発生

緊急地震速報の受信,防災無線等で確認できれば校内放送を行う。



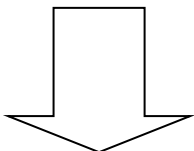
②安全の確保（初期対応）

落ちてこない・倒れてこない・移動してこない場所に身を寄せる



③グラウンドへの避難

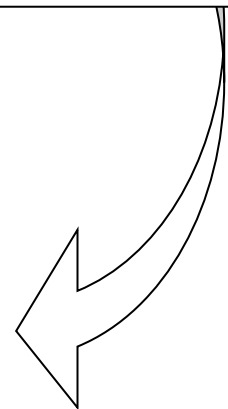
ラジオ・テレビ、防災無線等からの情報収集により、津波警報の発令の確認



④高台への避難（津波警報発令時）

津波発生時の避難ルートにより高台への避難を行う


地震発生と同時に津波
警報が発令された場合










津波避難の3原則

1. 想定にとらわれるな
2. 最善を尽くせ
3. 率先避難者たれ

障害のある学生に対する配慮について



- [受験上の配慮](#) 
- [修学上の配慮](#) 

マイナンバー（個人番号）の取扱いについて

- [通知](#) 
- [（別紙1）各所属における事務フロー](#) 
- [（別紙2-1）マイナンバー及び本人確認書類の提供のお願い](#) 
- [（別紙2-2）マイナンバーの提供のお願い](#) 
- [（別紙3）マイナンバーの提供書](#) 
- [（別紙4）マイナンバーの記入用様式](#) 
- [（別紙5）身元を確認するための書類について](#) 

がん診療連携拠点病院現況調査について

回答様式

- [令和3年度 指定様式（様式3～4、別紙1～21）](#) 
- [留意事項](#) 

学生カルテ操作演習マニュアル

1 a. テスト患者の検索

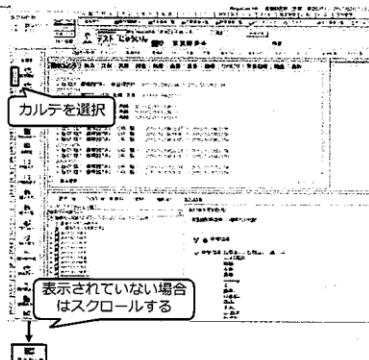
ID入力で患者ID90000102「テスト102」を検索する。



ID=90000102
または氏名で「テスト」
で検索する。

1 b. 学生カルテの起動

対象の患者の電子カルテを開き、ランチャーから「学生カルテ」を起動する。

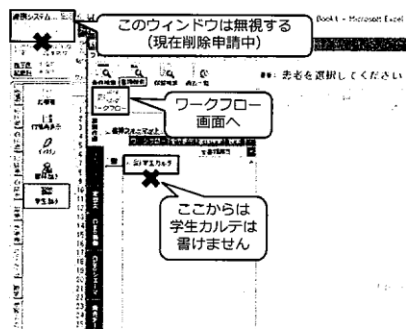


カルテを選択

表示されていない場合はスクロールする

1 c. ワークフロー画面へ

DocuMakerが起動したらワークフロー画面へ



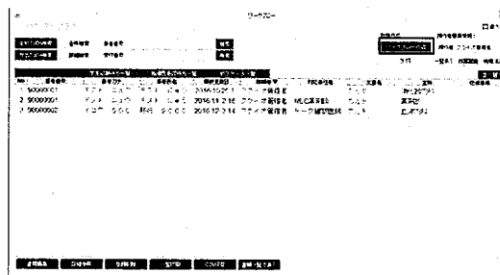
このウィンドウは無視する
(現在削除申請中)

ワークフロー
画面へ

ここからは
学生カルテは
置けません

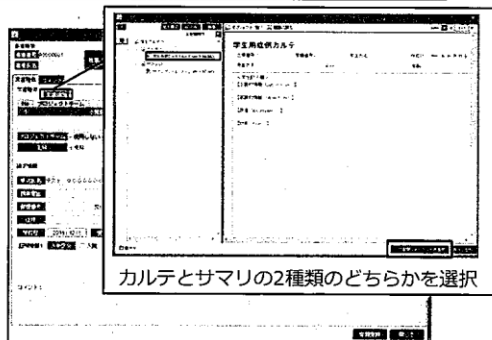
2. ワークフロー作成

ワークフロー作成せずに学生カルテは作れません



3. 文書追加画面呼び出し

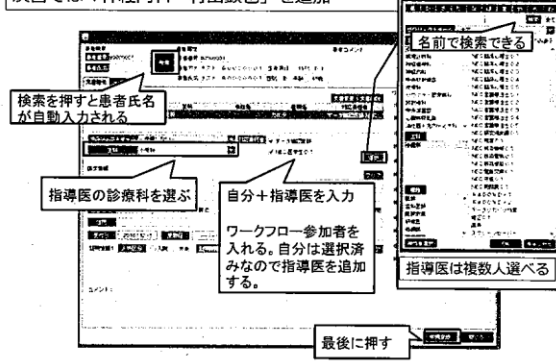
文書追加を押してカルテを選択



カルテとサマリの2種類のどちらかを選択

4. ワークフローに必要な情報を入力して依頼登録

文書種類を患者情報、診療科、指導医を選択
演習では「神経内科 村田顕也」を追加



検索を押すと患者氏名
が自動入力される

指導医の診療科を選ぶ

自分+指導医を入力

ワークフロー参加者
を入れる。自分は選択済
みなので指導医を追加
する。

名前で検索できる

指導医は複数人選べる

最後に押す

5. ワークフローから記載画面を開く
 記入したいワークフローをダブルクリックして編集

6a. カルテを作成する (演習)
 今回は練習でPACSからMR画像を貼り付ける。

6b. カルテを作成する (演習)
 電子カルテ (MegaOak) のウィンドウに切り替える

6c. カルテを作成する (演習)
 電子カルテの画面からPACSを起動

6d. カルテを作成する (演習)
 PACSからMR画像を開く

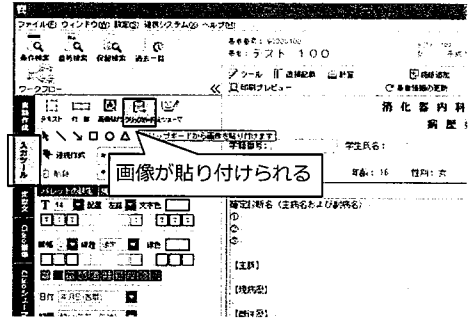
6e. カルテを作成する (演習)
 タスクバーのTryshotでキャプチャー開始する

6f. カルテを作成する (演習)
MRの画像をキャプチャーする



変化したカーソルで
このあたりを範囲指定

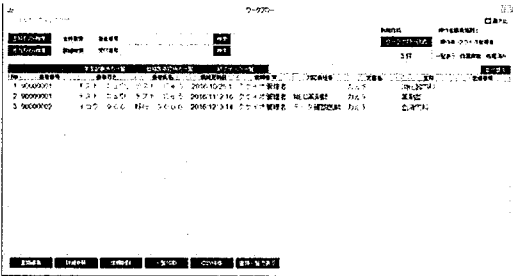
6g. カルテを作成する (演習)
MRの画像をキャプチャーする



画像が貼り付けられる

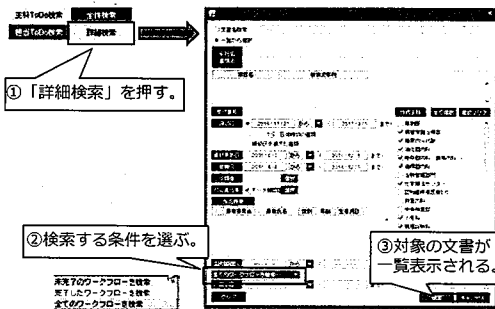
指導医に提出 (演習はここまで)

7. 指導医から差し戻しがあった場合
一覧に赤字で表示されるので開いて修正する



8. 完了したカルテの検索方法

指導医に承認されたカルテは詳細検索で確認できる。



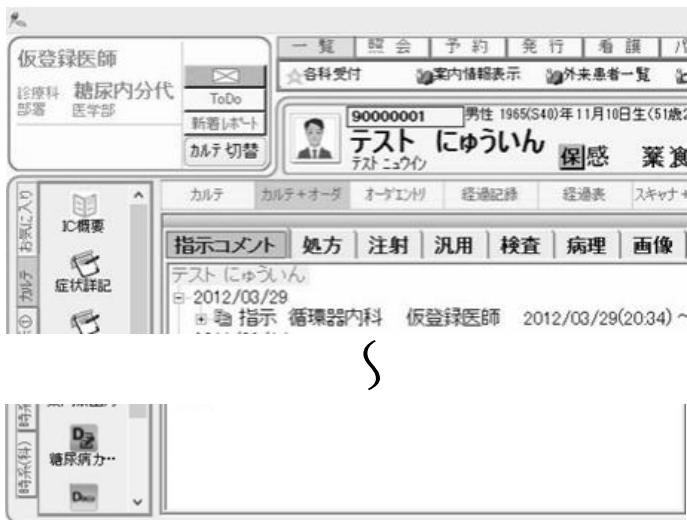
①「詳細検索」を押す。

②検索する条件を選ぶ。

③対象の文書が
一覧表示される。

学生カルテ操作方法

1. 患者のカルテ画面の左側「カルテ」メニュー下部の「学生カルテ」をクリック



↓「学生カルテ」がない場合はスクロール



2. 立ち上がったドキュメーターの「ワークフロー」をクリック



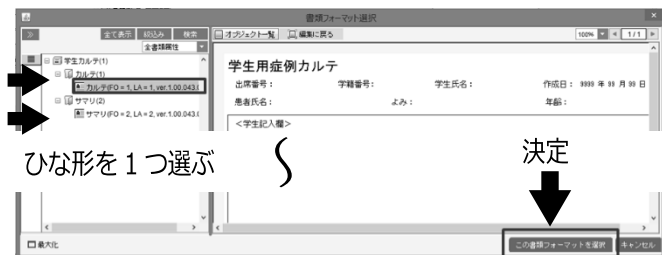
3. 「ワークフロー」を新規作成
※ワークフローを作成せずに学生カルテは作れません。



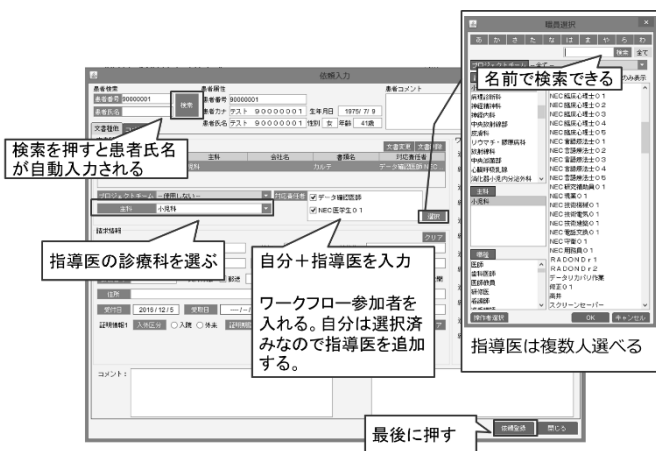
4. 依頼入力画面で「文書追加」をクリック



5. 書類フォーマット選択画面で「カルテ」や「サマリ」などひな形を選択



6. 依頼入力に必要な情報を入力して「依頼登録」をクリック



7. ワークフロー一覧画面から作成したワークフローをダブルクリックして編集へ「依頼待ち一覧」に作成したワークフローが表示される



ダブルクリックで編集画面へ

8. カルテを作成
 出席番号を手入力する（学籍番号は省略可）
 ※「Tryshot」でキャプチャーすれば画像を「クリップボード」で貼り付けできる
 完了したら「医師へ承認依頼」を押す

図を描いたり
 シェーマを貼れる



9. ワークフロー一覧画面の使い方



指導医からコメントがあった場合→赤字で表示される

指導医が承認したカルテは一覧画面の「詳細検索」で表示

検索する条件を選ぶ。

未完了のワークフローを検索
 完了したワークフローを検索
 全てのワークフローを検索



対象の文書が一覧表示される。

♥ [医学入門（エスコート実習・事前講習）令和3年度](#)

教師: 村田 顕也

教師: 森 めぐみ

♥ [看護体験実習（令和3年度）](#)

♥ [臨床実習入門（令和3年度）](#)

教師: 学生課 4

教師: 教育研究開発センター 1

教師: 教育研究開発センター 2

教師: 村田 顕也

教師: 森 めぐみ

♥ [皮膚科学](#)

♥ [Post-CC OSCE評価者](#)

♥ [令和3年度Post-CC OSCE（学生）](#)

教師: 村田 顕也

令和3年度診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験

教育研究開発部門

教養教育部門

部門長

(センター長兼務)

副部門長

末永智浩講師(医)
岩村龍子教授(保)
安原智久教授(薬)

1. 教務 2. カリキュラム 3. 分析・評価

教育研究開発部門部会

カリキュラム専門部会: カリキュラムの実施体制
カリキュラム編成・改善、開発
カリキュラム全般、その他臨床技能教育部会: 臨床技能教育の方針及び研究
臨床技能教育全般、その他教育評価部会: 大学教育の評価方法の研究
学生の評価方法の研究
教員の授業評価、その他FD部会: 授業内容・方法の改善及び開発
セミナー、講習会及び教員研修の企画・実施
授業改善全般、その他

部門長

(茂里 康教授)

副部門長

田中晴喜講師(医)
増田匡裕教授(保)
安原智久教授(薬)

1. 医学部および保健看護学部の教養教育に係る企画、立案及び実施
2. 医学部および保健看護学部の教養カリキュラムに実施体制及び講義・講師の調整
3. その他部門の目的を達成するための事項

教養教育検討委員会

部門長(委員長)、副部門長(副委員長)、
部門を組織する教授
医学部長、保健看護学部長、薬学部長、
教育研究開発センター長、
その他部門長が必要と認めたもの

(注) 令和4年度からは教学IR部門が新設され、教育研究開発部門、教養教育部門と合わせて3部門となる予定

(注) 令和4年度からは教育研究開発センターから教育評価部会がプログラム評価委員会(新設)として独立し、教育プログラムの評価を行う予定

Certificate for Medical Clerkship

After having passed the premedical examination the medical student

(Name) [REDACTED]

Born on [REDACTED] in

Has performed a medical clerkship in the following field(s):

1. Emergency and Critical Care Medicine
2. Surgery I (Thoracic and Cardiovascular)

The uninterrupted clerkship was between Apr. 6, 2016 and
... Apr. 28, 2016

811-1 Kimiddera, Wakayama city, Location
Japan

..... May 19, 2016 Date

Wakayama Medical University

.....
(Name of Institution)

Official seal

For Surgery I

For Emergency and Critical Care Medicine

Yoshitaka Okamura
.....

Sayo Kudo
.....

Signature of training physician

診療科のご案内	外来受診のご案内	入院・退院のご案内	病院のご案内	医療関係者の方へ
和歌山県立医科大学	和歌山県立医科大学附属 病院	紀北分院認知症疾患医療 センター		

令和4年7月1日時点

当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。
担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

■ 総合診療

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
2診		(総合診療) 廣西	糖尿外来 (河井)	総合診療(循環器) 羽野	(総合診療) 廣西	(認知症センター) 廣西	総合診療 (認知症センター) 廣西			総合診療(循環器) 羽野
3診	糖尿外来 (河井)		(呼吸器) 中西		泌尿器外来 (藤井) [2・4週]	(肝臓) 佐藤 ※再診のみ		リウマチ膠原病 応援医師 [第2・4週]		
4診		皮膚科 神人 [第1・3・5週] 加山 [第2・4週]	(脳神経内科) 梶本	(脳神経内科) 梶本			皮膚科 稲田 [第1・3・5週] 中塚 [第2・4週]			
新患5診	児玉		川口		応援医師		河井		栗川	
外科診							櫻井 (第3週除く)			

■ 脊椎ケアセンター

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
6診	脳外 大岩	脳外 (認知症センター) 大岩		脳外 上野 [第1週]	脳外 大岩		脳外 大岩			脳外 大岩
7診	整形外科 延興		整形外科 中川	足の専門外来 浅井[奇数週]	整形外科 前田		整形外科 延興		整形外科 中川	
8診	整形外科 玉井		整形外科 原田		整形外科 玉井		整形外科 原田		整形外科 前田	
リハビリテーション科	幸田 南方		幸田		南方		幸田 南方		幸田 南方	

■ 眼科/小児科

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
眼科	小門	西	岡田	[第1週] 綿賀 [第2週] 岩西 [第3・5週] 住岡 [第4週] 石川	永井	子ども外来 (鈴木)	小門	永井	岡田	術前外来
	安武	永井	真医外来 (西)	安武 [第1週休診]	西		永井	西	小門	
小児科	青柳		樋口		青柳		青柳		青柳	

■ 認知症疾患医療センター

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
認知症疾患医療センター		大岩				廣西	廣西		梶本	

診察受付 月曜～金曜:午前8時45分～11時30分 再診で予約のある方は指定時間(予約表の記載時間)
※当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。

紀北分院 予約センター(受付時間8時45分～15時)
TEL:0736-22-4600 (代表)0736-22-0066

紀北分院 認知症疾患医療センター 診療予約・介護相談 (9時～17時)
TEL:0736-26-3004 (代表)0736-22-0066

著作権リンクについて 免責事項

〒649-7113
和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219
和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

電話番号(代表)
0736-22-0066
電話番号の転記は控えにしてください

紀北分院予約センター
0736-22-4600
電話番号の転記は控えにしてください
●予約センター
登録QRコード



教育プログラム評価委員長 様
(学生課扱い)

授業評価に係る改善計画等について (回答)

講 義

○ 所 属 :

○ 職 氏 名 :

○ 担当科目 :

- ※ 「全般」欄には評点に関係なく、すべての教員において「目標等」を御記入願います。
 ※ 評点が低い項目や前回と比して著しく低い項目がある場合、該当項目欄に「改善計画」を御記入願います。

全 般	全体を通して (下記項目以外)
改善計画・ 目標等	
質問項目 1	授業の開始時間に対し散漫でなく、授業内容に対して時間配分は適切でしたか？
改善計画等	
質問項目 2	授業の構成、内容は十分準備されていましたか？
改善計画等	
質問項目 3	授業はわかりやすかったですか？
改善計画等	
質問項目 4	授業の内容に興味を持つことができましたか？
改善計画等	
質問項目 5	授業の内容が教育要項に準拠していましたか？
改善計画等	

○ 学生による授業評価について

教育内容の充実や教授法の改善に役立てるため、学生による授業評価を実施する。

1. 評価対象
3コマ以上の講義を担当する教員（教授、准教授、講師、非常勤講師、助教）
2. 評価項目
下記「授業評価」参照
3. 実施方法・時期
担当教員の最終授業の終了後及び実習、試験の終了後
回答用紙の配布・回収・集計等については別途定める。
4. 活用方法
授業担当教員へ評価をフィードバックして、次年度以降の授業の改善に役立てる。
5. 通知・閲覧・公表
学生課において、集計結果を保管するとともに、集計終了後、速やかに担当教員に通知する。
授業評価については、医学部長、学生部長、入試教育センター長、教育研究開発センター長が総括を行い、公表する。全教員の個別の結果は学内ホームページに掲載する。
6. その他
各教員の講義に関する評価の他、実習（臨床実習を含む）及び試験についても評価する。
教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力又は記入すること。

※学生による授業評価の実施方法・内容については、教育研究開発センター教育評価部会において検討し、改訂することがある。

授業評価

教科 _____

担当教員氏名 _____

設問1～5について当てはまるところにをしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1 | 授業の開始時間に対し散漫で無く、授業内容に
対しての時間配分は適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 2 | 授業の構成、内容は十分準備されていた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 3 | 授業は分かりやすかった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 4 | 授業の内容に興味を持つことができた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 5 | 授業の内容が教育要項に準拠していた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 6 | その他、意見があれば自由に記載してください。 | | | | | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力してください。

※この授業評価は授業の改善、大学評価の資料とする場合があります。

実験・実習評価

実習科目名 _____

設問1～17については当てはまるところに☑をしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | |
|----|--|----------------|
| 1 | 実験・実習の必要性や位置づけが明確であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 2 | 実験・実習内容の分量は適切であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 3 | 実験・実習のレベルは適切であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 4 | 実験・実習で取り上げられた事柄は興味ある内容であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 5 | この実験・実習で学んだことは今後役に立つ。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 6 | 教員の熱意や意欲を感じた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 7 | 説明の仕方は分かりやすかった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 8 | 実験・実習を行ううえで、人数・グループ分けは適切であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 9 | 実験・実習に必要な設備・器具は整っていた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 10 | 実験・実習上の注意事項について十分な説明があった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 11 | 学生からの質問に対して適切な指導があった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 12 | 提出したレポート・スケッチに対する指導は十分であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 13 | 実験・実習を受講するうえで、実習テキスト（プリント含む）は役に立った。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 14 | この実験・実習に積極的に参加できた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 15 | 原理や操作手順を十分に理解して実験・実習に臨むことができた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 16 | レポート・スケッチを自分自身で作成できた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 17 | 実験・実習の内容を理解できた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 18 | この実験・実習について、改善してもらいたい点を含め、長所・短所等を自由に記載（マークシート裏面に記載）してください。 | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず記入してください。

※この授業評価は授業の改善、大学評価の資料とすることがあります。

臨床実習評価

診療科 _____

設問 1～16については当てはまるところに☑をしてください。

A. 指導医について

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | |
|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1 指導医と討論する時間が充分にあった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 2 親切に接してくれた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 3 問題点を見つけるよう適切に指導してくれた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 4 時間を厳守するよう適切に指導してくれた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 5 実習中の最終目標を明確に示してくれた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 6 毎日の目標を示してくれた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 7 医学的知識について適切に指導してくれた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 8 医学的技術について適切に指導してくれた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 9 知識・技術について誤りがあった場合、注意や指導してくれた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |

B. セミナーについて (行われなかった場合は記入不要です。)

- | | | | | | |
|--------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 10 よく準備された教材を使用してくれた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 11 病態との関連について適切に説明してくれた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |

C. 自己評価

- | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 12 知識が増えた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 13 基本的技能ができるようになった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 14 診断・治療の選択が可能になった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 15 症例の提示 (発表) ができるようになった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |

D. 臨床実習の総合的評価

(悪い←-----→良い)

- | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 16 臨床実習を総合的に評価してください。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 17 その他、意見があれば自由に記載してください。 | | | | | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力してください。
※この授業評価は授業の改善、大学評価の資料とすることがあります。

試験評価

教科 _____

設問 1～2については当てはまるところに☑をしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1 試験の内容は講義内容 (教育要項) に即していた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 2 試験時間は適正であった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 3 その他、意見があれば自由に記載してください。 | | | | | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず提出してください。
※この試験評価は授業の改善、大学評価の資料とすることがあります。

<<令和3年度 教育研究開発センター 事業実績>>

1 各部会（医学部委員会）開催実績

部 会 名	議 題	実 施 年 月 日
カリキュラム専門部会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度カリキュラムについて 新規授業WGについて 留年生が受けられない授業への対応 	第1回 令和3年11月5日(金)
教育評価部会	<ul style="list-style-type: none"> 卒業試験の合否判定について 令和3年度CBTの合否判定基準について 令和4年度医学部履修要領について ベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチング賞の推薦について 令和2年度の授業評価結果について 	第1回 令和3年11月8日(月)
	<ul style="list-style-type: none"> 卒業試験（再試験）の合否判定について 令和4年度医学部履修要領について 	第2回 令和3年12月6日(月)
	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度医学部履修要領の一部変更について 	第3回 令和4年2月1日(火) ※メール審議
運営委員会		
自己評価委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業実績報告について 	第1回 令和4年3月25日(金)
FD部会	<ul style="list-style-type: none"> FDの本年度計画について <ul style="list-style-type: none"> 共用試験（OSCE・CBT）について 医学教育モデル・コア・カリキュラムに基づく本学カリキュラムの分析について 今年度卒業試験の概要について 遠隔講義での授業方法の工夫 医学教育モデル・コア・カリキュラムから医師国家試験出題基準までの全体の流れについて 	第1回 令和3年6月21日(月)
医学教育分野別評価部会	<ul style="list-style-type: none"> 年次報告書（案）について 	第1回 令和3年6月29日(火) ※メール審議

※運営委員会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催実績なし

2 FD研修会（医学部）開催実績

	内 容	実 施 年 月 日
第1回	①テーマ：共用試験（OSCE・CBT）について ②講 師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 ③参加者：教員 50名	令和4年2月28日(月)
第1回	①テーマ：本年度卒業試験の概要について ②講 師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 ③参加者：教員 54名	令和4年3月23日(水)



挨拶

教育研究開発センター概要

部会・委員会

自己評価委員会

掲示板

投書箱

リンク

Contents

● 部会・委員会

▶ 教育評価部会

▶ 入試制度検討部会

▶ カリキュラム専門部会

▶ 臨床技能教育部会

▶ FD部会

▶ 和歌山SPの会

部会・委員会

HOME>部会・委員会



教育評価部会

- ▶ [お知らせ](#)
- ▶ [活動報告](#)
- ▶ [規程・運営要項](#)



入試制度検討部会

- ▶ [お知らせ](#)
- ▶ [活動報告](#)
- ▶ [規程・運営要項](#)



カリキュラム専門部会

- ▶ [お知らせ](#)
- ▶ [活動報告](#)
- ▶ [教育要項](#)
- ▶ [規程・運営要項](#)
- ▶ [カリキュラムの変更点](#)



臨床技能教育部会

- ▶ [お知らせ](#)
- ▶ [活動報告](#)
- ▶ [OSCE部会](#)
- ▶ [CBT部会](#)
- ▶ [規程・運営要項](#)



FD部会

- ▶ [お知らせ](#)
- ▶ [活動報告](#)
- ▶ [規程・運営要項](#)



和歌山SPの会

- ▶ [お知らせ](#)
- ▶ [活動報告](#)
- ▶ [SPの会ご出欠連絡フォーム](#)

▲ページTOPへ

| [和歌山県立医科大学TOP](#)| [和歌山県立医科大学図書館\(紀三井寺館\)](#)| [和歌山県立医科大学図書館\(三葛館\)](#)